

令和 8 年熊本地震調査報告



中央開発株式会社
熊本地震調査団

2026年10月2日版

令和8年熊本地震の概要

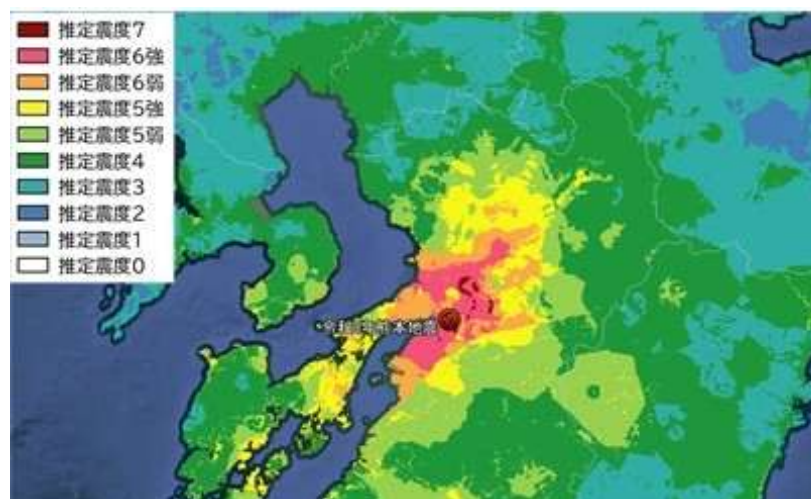
- 2026年7月28日16時27分に発生
- 深さ約15 km マグニチュード(M)7.1 最大震度7
- 長周期地震動階級4を観測
- 北北西－南南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型
- 震源断層は、長さ30～40 km程度の横ずれを主とする北西傾斜の断層。そのうち北東部で大きなすべりが生じたと推定される
- 震源断層は日奈久断層帯の3つの区間（高野－白旗区間、日奈久区間、八代海区間）のうち、主に高野－白旗区間及び日奈久区間
- 右横ずれ変位最大約2 m。北西側低下の正断層成分。

(地震調査研究推進本部より)

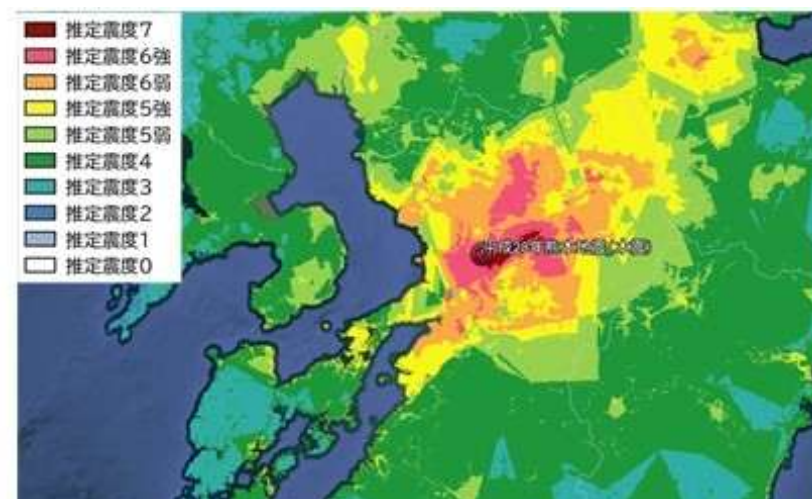


(地震調査本部資料)

	令和 8 年熊本地震	平成 28 年熊本地震（本震）
発生日時	2026 年 7 月 28 日 16 時 27 分頃	2016 年 4 月 16 日 1 時 25 分頃
気象庁マグニチュード M_j	7.1	7.3
モーメントマグニチュード M_w	6.8	7.0
震源位置（図 3 (a)）	熊本県熊本地方	熊本県熊本地方
震源深さ	16km	12km
発震機構	東北東—西南西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型	南北方向に張力軸を持つ横ずれ断層型
最大震度	震度 7（熊本県宇城市・氷川町）	震度 7（熊本県益城町、西原村）
最大長周期地震動階級	長周期地震動階級 4 （熊本県宇城市・八代市）	長周期地震動階級 4 （熊本県南阿蘇村、宇城市、熊本市）



(a) 令和8年熊本地震

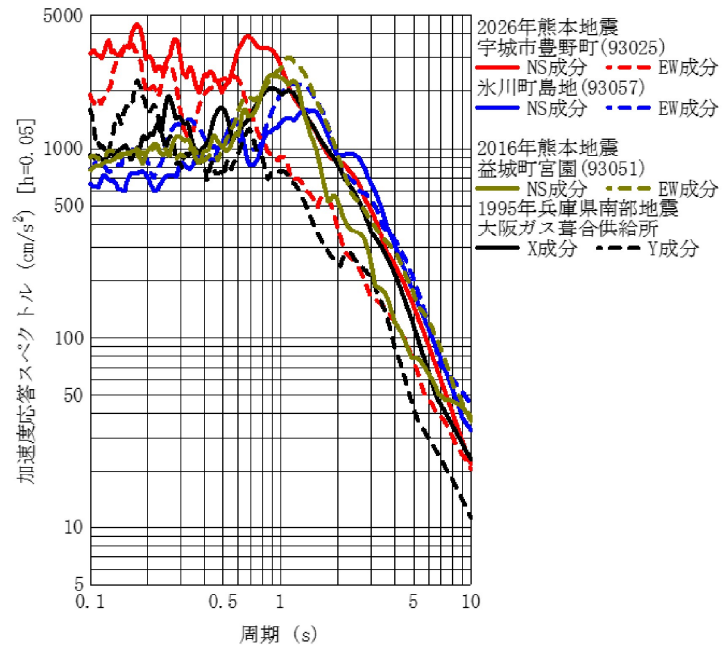


(b) 平成28年熊本地震

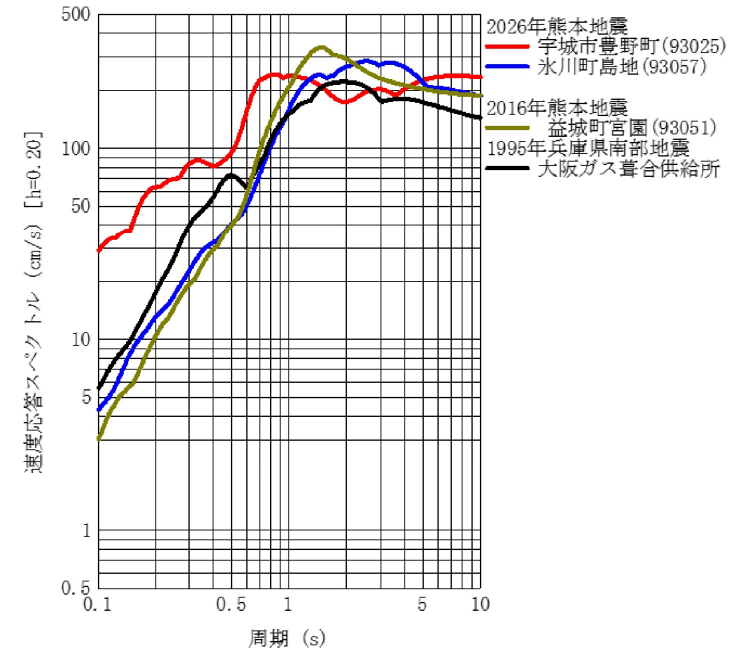
被害の概要

項目	令和8年熊本地震	平成28年熊本地震
死者数	36人（8月1日時点）	275人 （直接死50人、関連死等含む）
負傷者数	138人	約2,739人
全壊住宅	182棟	8,642棟
半壊住宅	225棟	34,389棟
一部損壊住宅	1,034棟	155,230棟
避難者数	約9,228人	最大約18万4千人
断水	約72,000戸	最大約445,000戸
停電	約6,000戸（8月1日時点継続）	最大約477,000戸
土砂災害	一部発生	約160件発生
鉄道被害	九州新幹線で防音壁損傷200か所超、レール破断等	九州新幹線脱線、長期運休
港湾被害	八代港で液状化・岸壁沈下	熊本港等で岸壁被害
経済被害	商工業被害約144億円、土木農業被害約1,155億円	熊本・大分両県で最大約4.6兆円

地震動特性



(1) 加速度応答スペクトル(減衰5%)



(2) 速度応答スペクトル(減衰20%) (SI値が最大となる方向)

- 斜面災害等に影響する**0.1～0.5秒の短周期成分は今回地震の方が大きい**
- 建物被害に起因する**0.5～2秒程度の周期帯は前回地震の方が大きい**

液状化被害の比較

	平成28年熊本地震	令和8年熊本地震	比較
液状化発生範囲	熊本市西区・南区、宇土市、宇城市、嘉島町、益城町など9市町で広域発生	熊本市南区八幡・川尻・杉島地区および嘉島町鯨・上島地区など限定的	大幅減少
住宅被害	近見・日吉・南高江地区で住宅傾斜・沈下が多数発生	一部で道路・宅地亀裂が確認されたが、2016年級の 大規模住宅被害は確認されていない	大幅減少
被災地域	白川・緑川流域に帯状に広範囲分布	主に旧河道や盛土地盤に限定	発生範囲縮小
特記事項	液状化による家屋傾斜が社会	対策実施済地区で明瞭な噴砂を確認せず	対策効果を確認

斜面災害（土砂災害）の比較

項目	平成28年熊本地震	令和8年熊本地震	比較
土砂災害発生数	熊本県内158箇所	国の被害報告では主として断層変位・道路被害が中心。阿蘇地域の大規模斜面崩壊は2016年ほど報告されていない	大幅減少
特徴的災害	阿蘇大橋地区等の巨大斜面崩壊、人命被害発生	日奈久断層沿いの地表地震断層・道路隆起が主体	被害形態が異なる
災害関連事業	緊急砂防26箇所、地すべり事業3箇所実施	現時点で同規模の砂防緊急事業は確認されていない	小規模

土砂災害の概要

【令和8年熊本地震】

- ・宮崎県 4件（うち1件で、人家一部損壊1戸。人的被害なし）
- ・熊本県 7件（うち1件で、人家一部損壊1戸。人的被害なし）

合計11件

* 国土交通省（2026年8月31日）

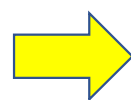
- ・空中写真判読の**斜面崩壊・堆積ポリゴン数：23**

⇒長さ及び幅が概ね30m以上のもの

* 国土地理院

【平成28年熊本地震】

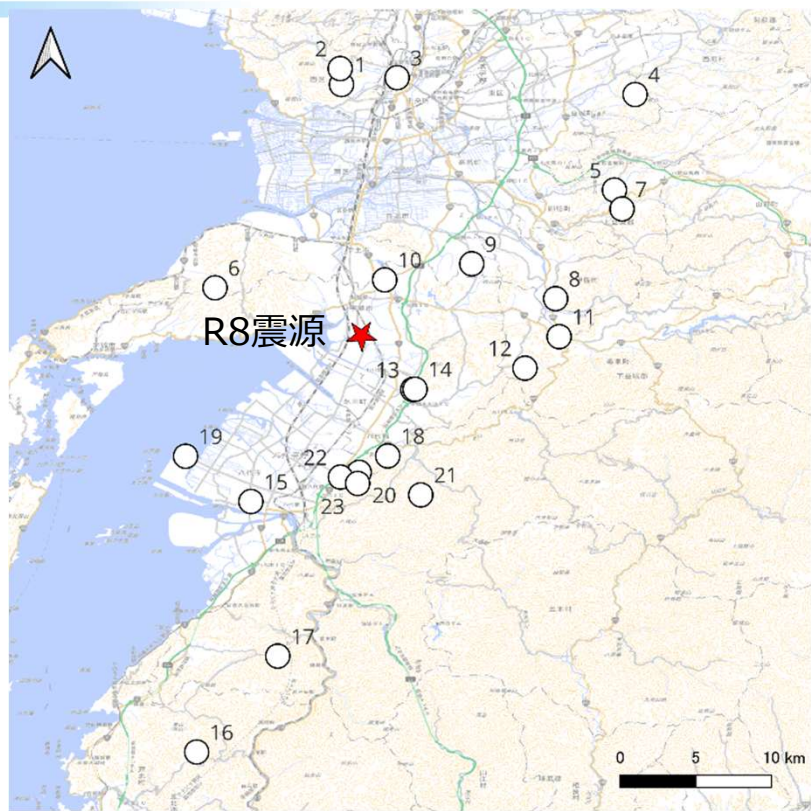
- ・熊本地震の土砂災害 158か所 熊本県土木部砂防課



H28年の地震と比べ格段に少なかった

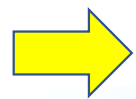
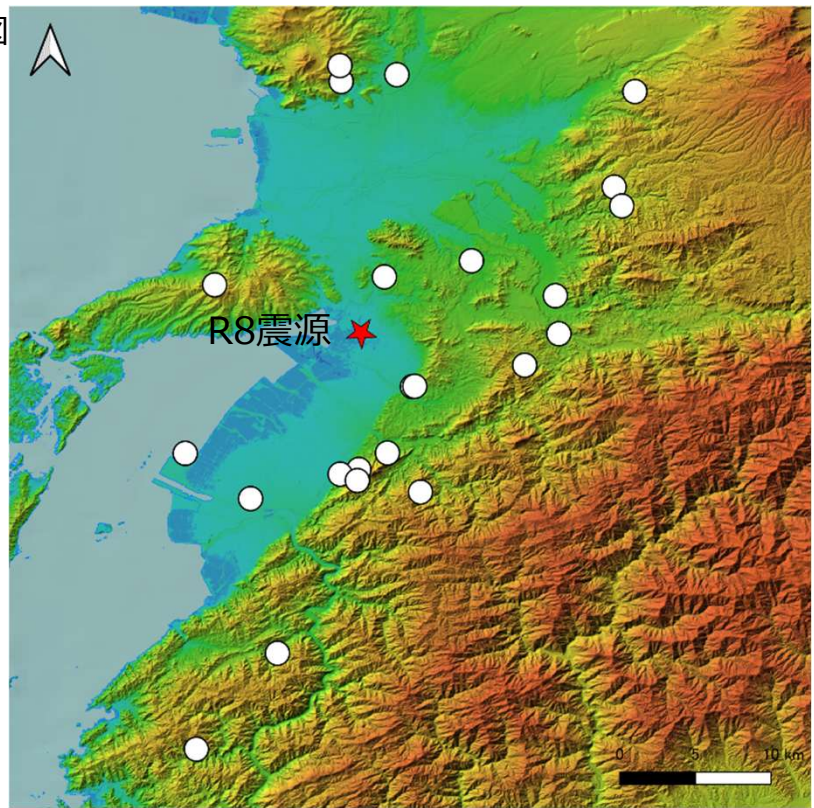
令和8年崩壊位置（地形図・空中写真）

位置図



○：空中写真判読斜面崩壊・堆積位置

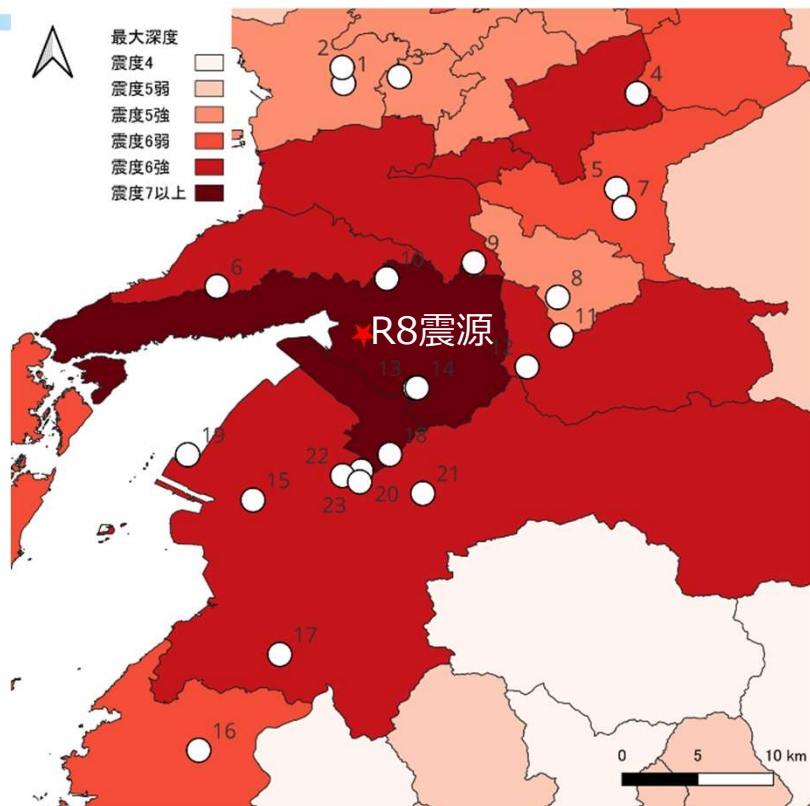
色別標高図



崩壊が確認した場所が点在している。

令和8年崩壊位置（震度・活断層図）

震度分布図

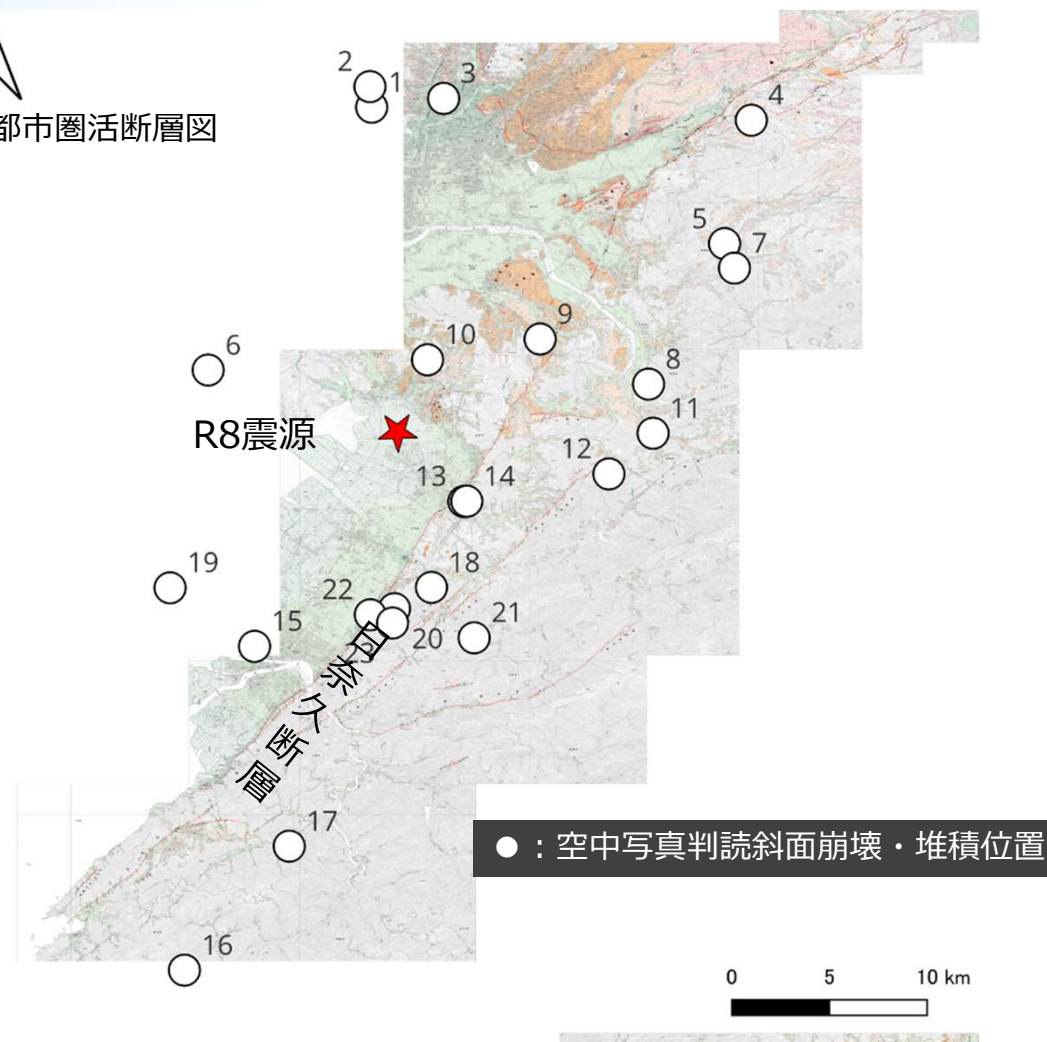


震度7：宇城市・氷川町

震度6強：熊本市・八代市・宇土市・美里町など

阿蘇市・南阿蘇村：震度5弱

都市圏活断層図

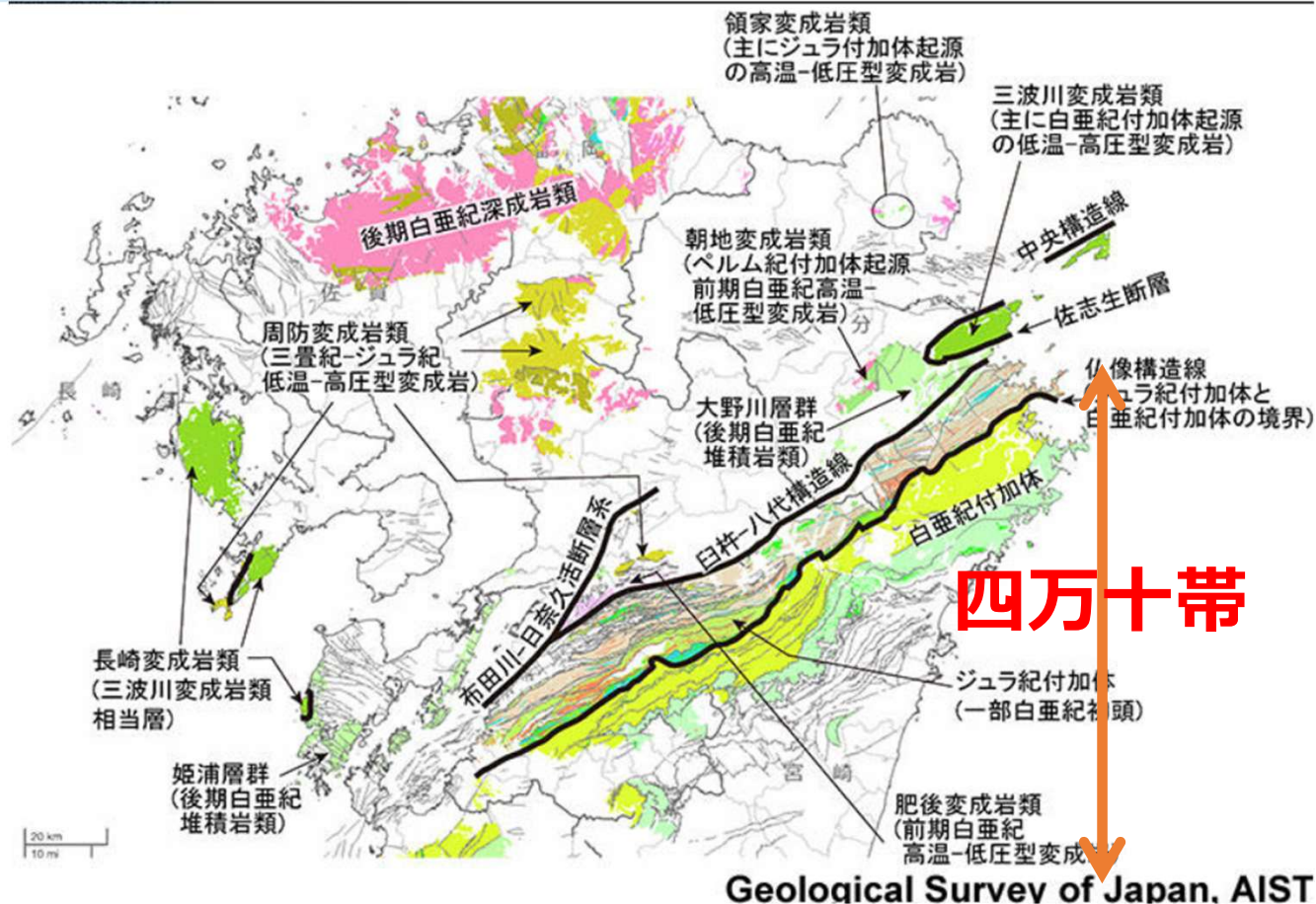
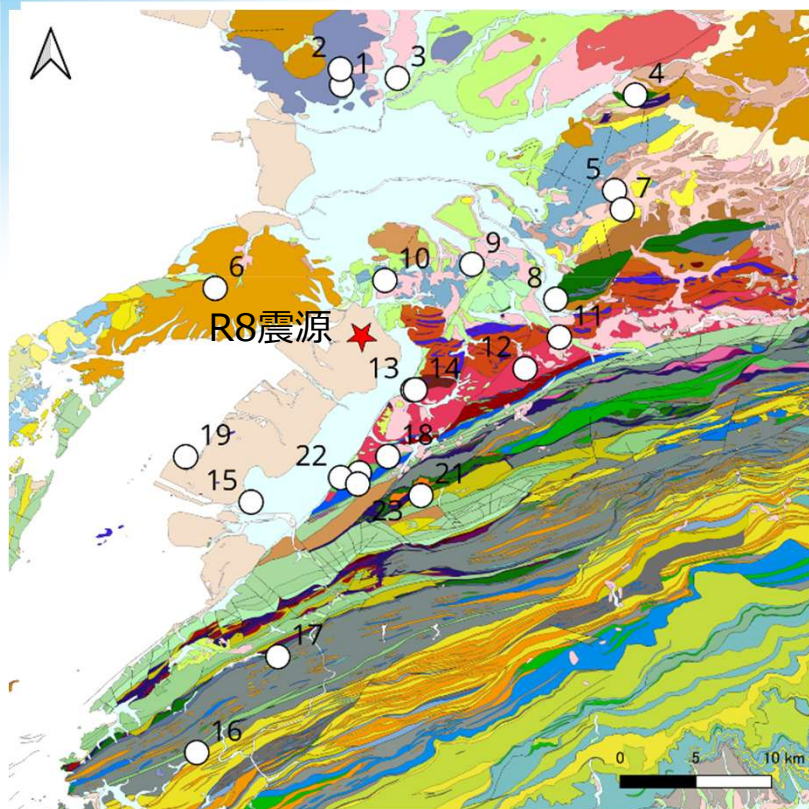


●：空中写真判読斜面崩壊・堆積位置

集中して分布していない。

令和8年崩壊位置（地質）

地質図

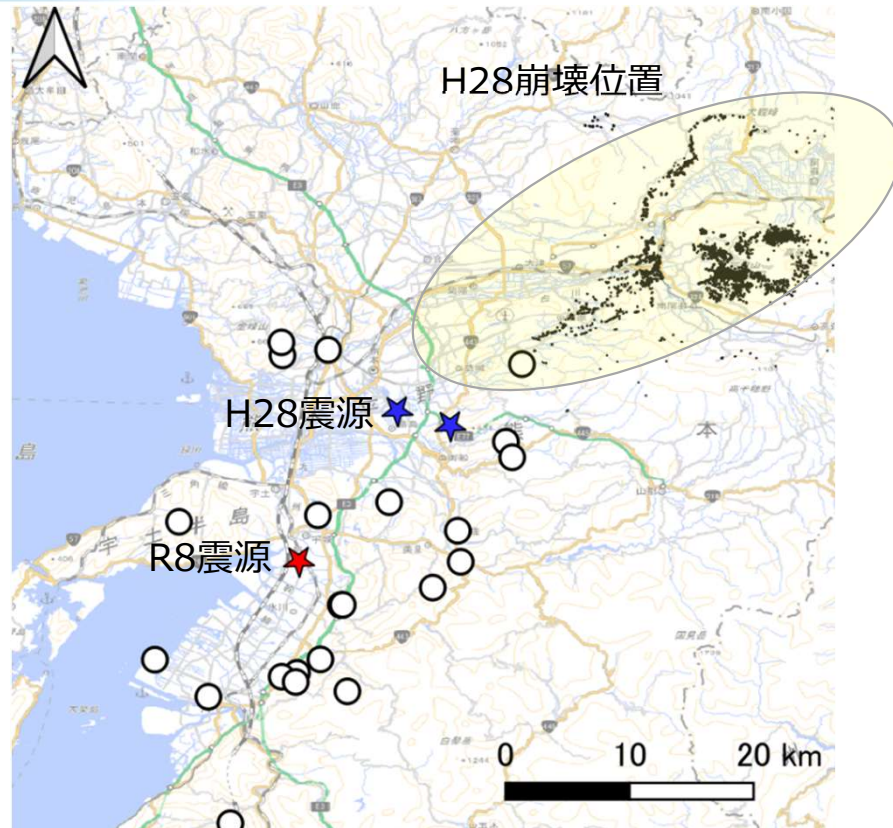


四万十帯

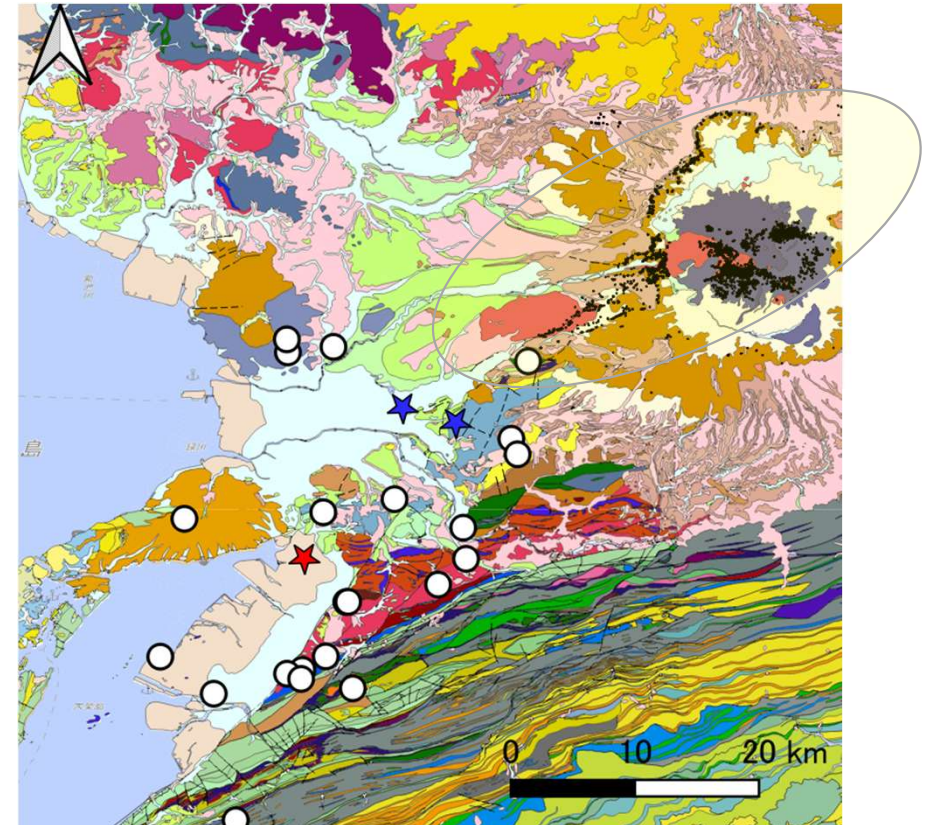
白杵八代構造線に近く四万十帯。

平成28年と令和8年崩壊位置と地質の比較

位置図



地質図

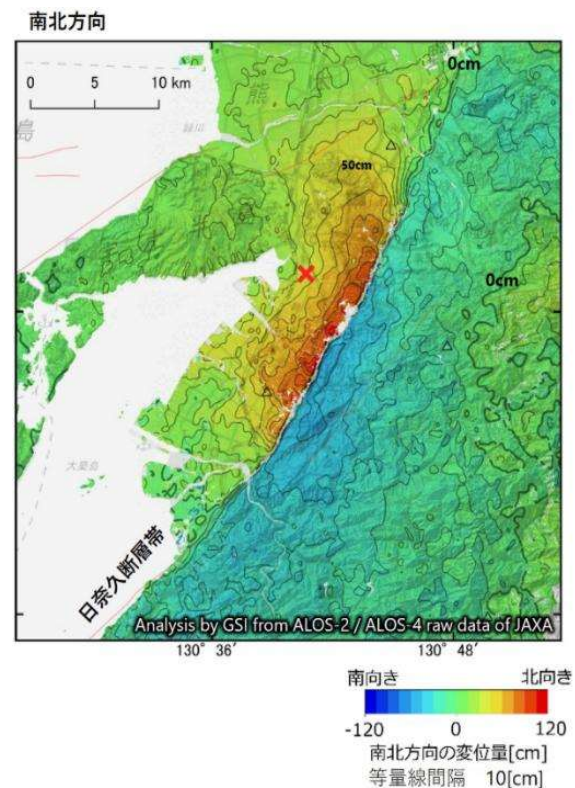
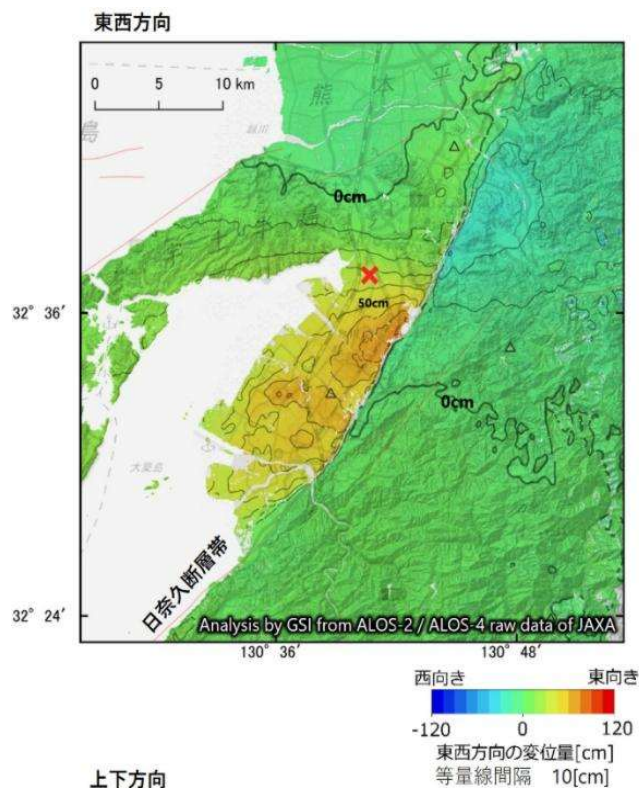
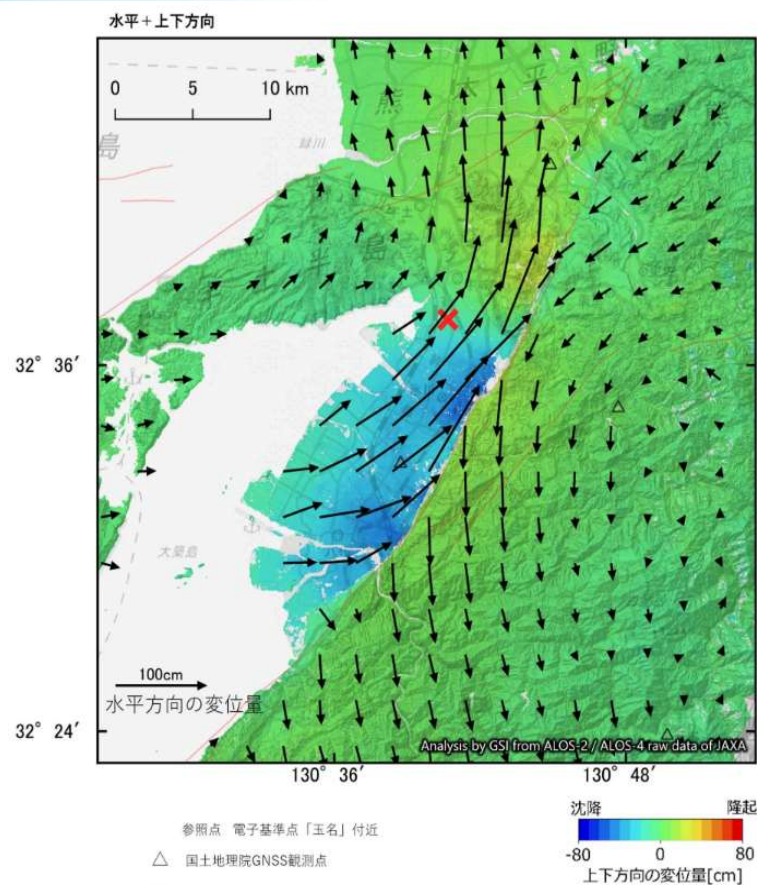


平成28年熊本地震

阿蘇カルデラ西縁から南阿蘇にかけての火山地質地域に崩壊が集中

地殻変動

国土地理院 InSAR解析



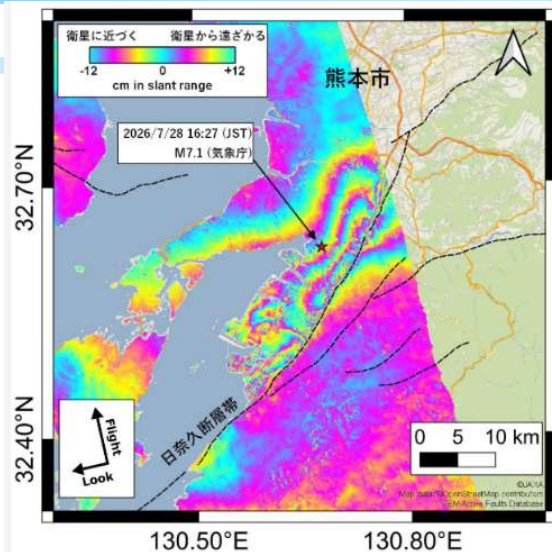
断層の位置が明瞭

図1 3次元解析結果(水平+上下) (3次元解析とは) New!!

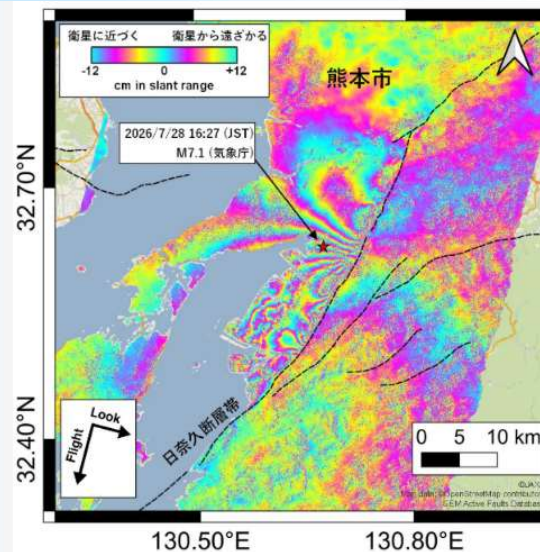
7/28

7/29

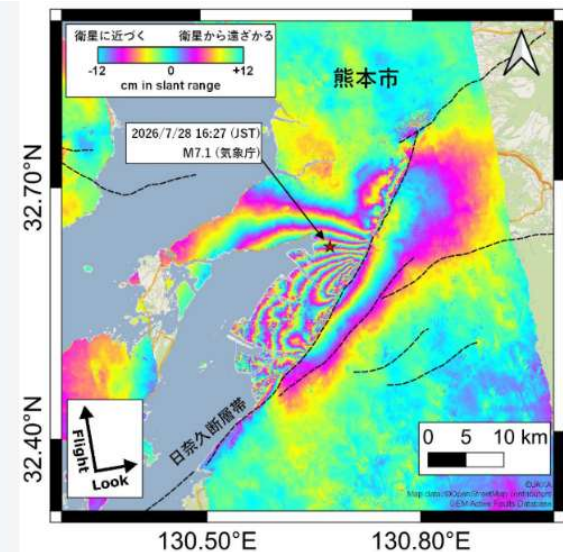
7/30



近 隆起または東向きの変動
遠 沈降または西向きの変動



近 隆起または西向きの変動
遠 沈降または東向きの変動



断層の北西側で衛星から遠ざかる方向に約1mの地殻変動
(沈降または東向きの変動)
断層の南東側で衛星に近づく方向に約20cmの地殻変動
(隆起または西向きの変動) が検出された

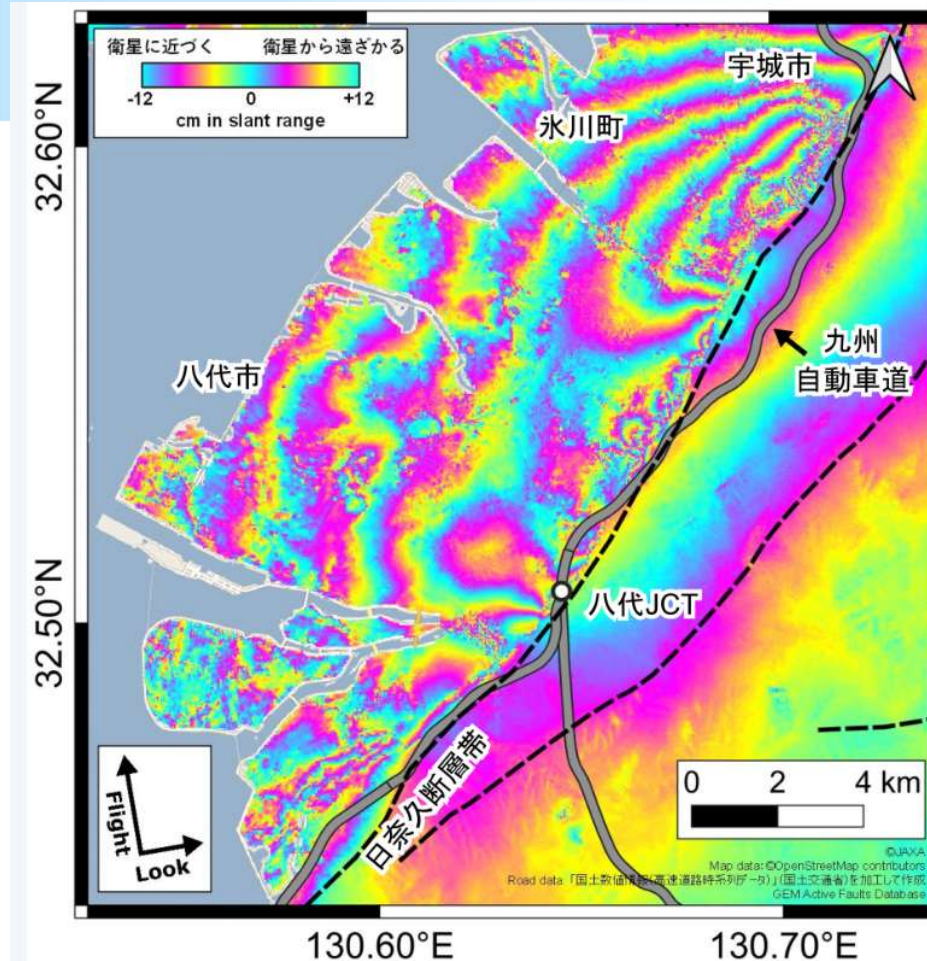


図3 : 図2 (右) の八代平野周辺の拡大図 🔍 (クリックで拡大)

八代海に面した平野部や断層に近い場所では、干渉縞に複雑なパターンが生じている箇所が多く見られる。

JAXA（地震前後の差分干渉画像）

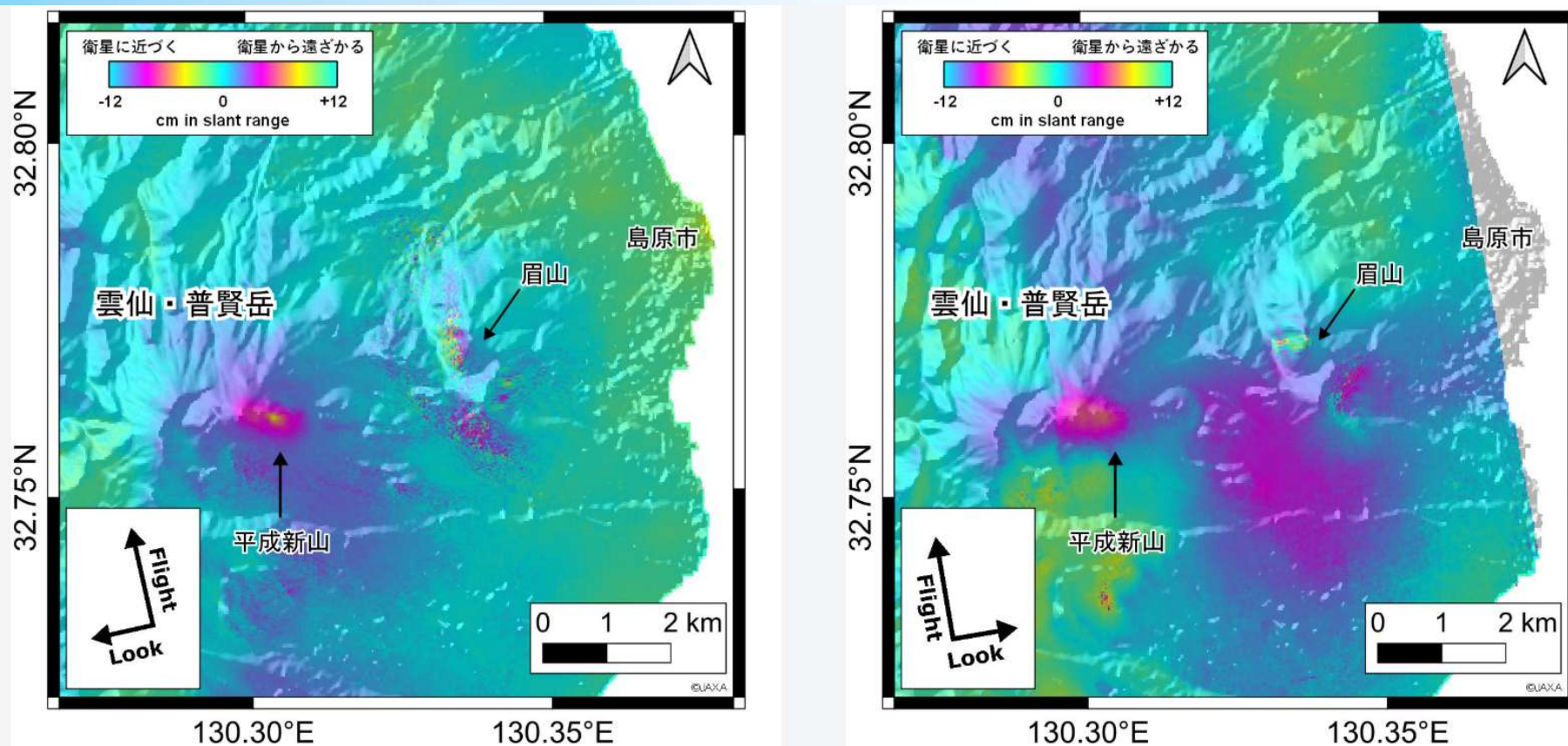


図4：（左）2025年8月12日と2026年7月28日の観測データによる干渉画像

（右）2026年7月16日と2026年7月30日の観測データによる干渉画像

平成新山の溶岩ドーム周辺では、衛星から遠ざかる方向（沈降）に約6cmの変動が検出。
眉山周辺では、干渉性の低下に伴う不規則な位相変化が検出。

被害状況現地調査結果

【実施年月日】

① 2026年8月1日から8月2日

参加：橋本(事業本部)、福原(SC)

② 2026年8月22日から8月24日

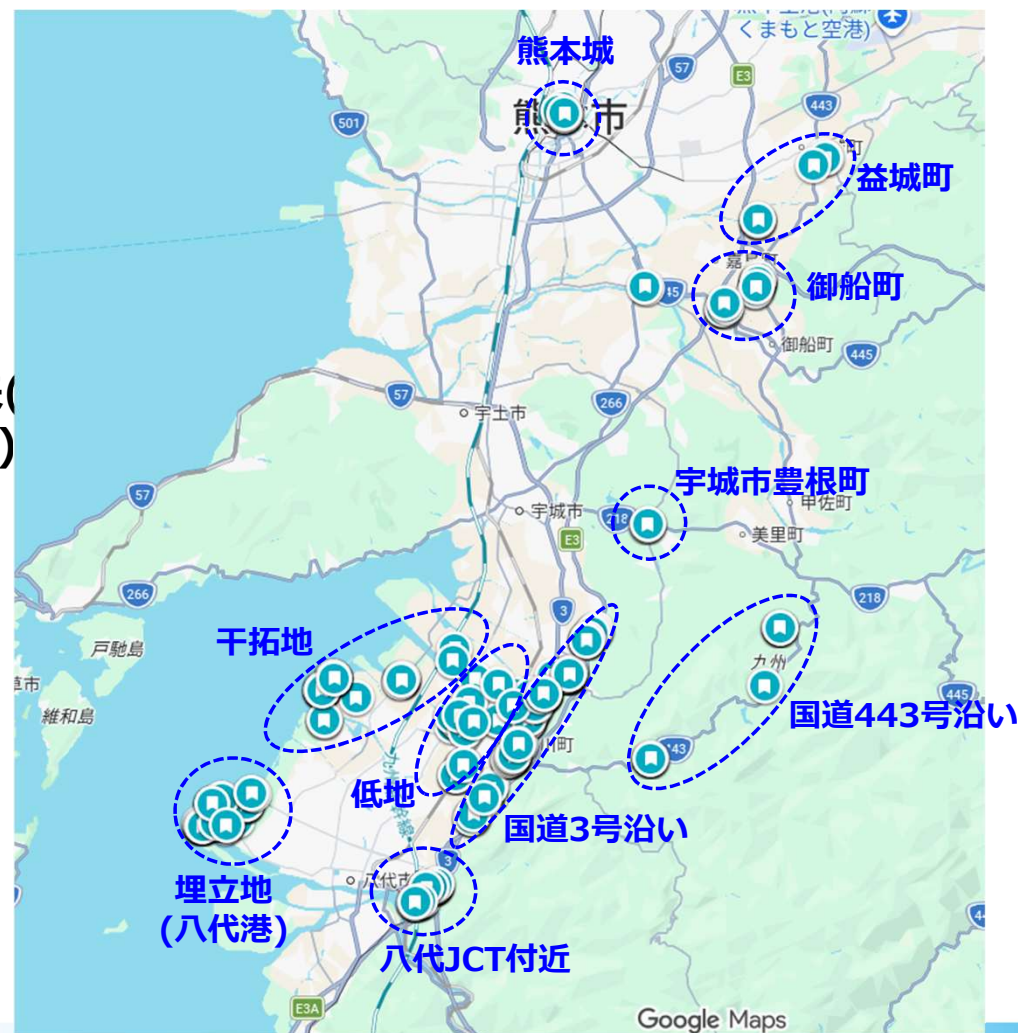
参加：東畑技術顧問

王寺(技術C)、福原・細矢(

松本・森田祥・石垣(九州)

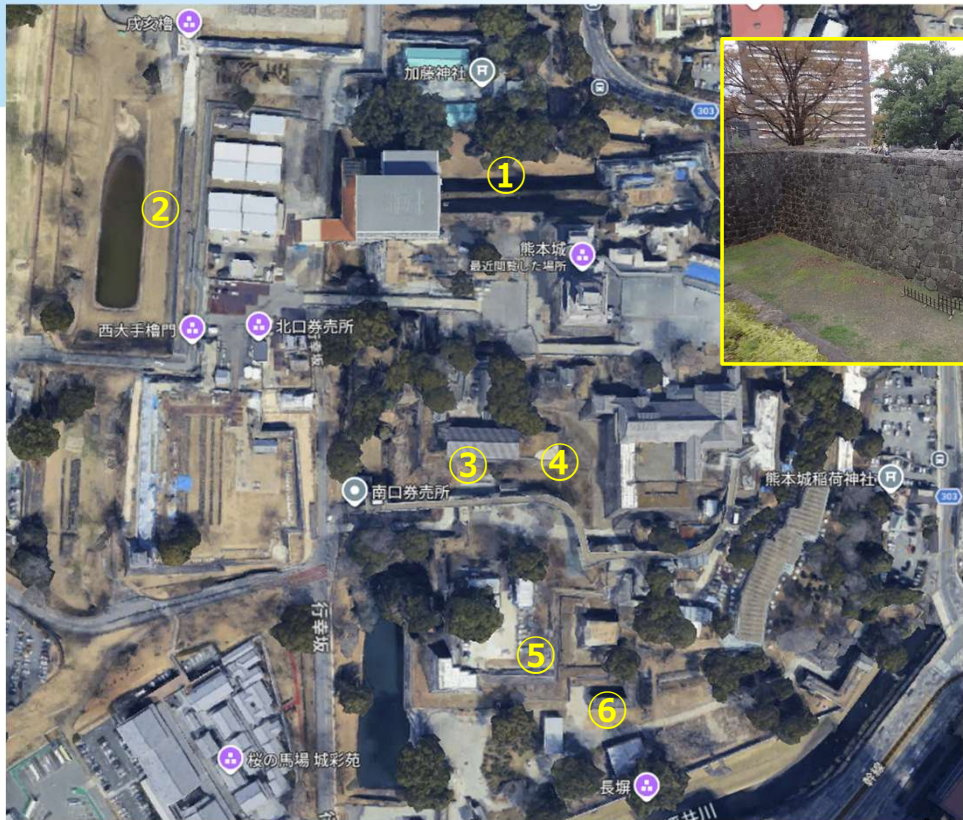
【対象エリア】

- ・ 熊本城(CKCモニタリング実施)
- ・ 益城町(2016年被災箇所)
- ・ 御船町
- ・ 宇城市豊根町
- ・ 国道443号線美里町～八代市
- ・ 八代JCT付近
- ・ 低地
- ・ 干拓地
- ・ 埋立地(八代港)
- ・ 国道3号沿い

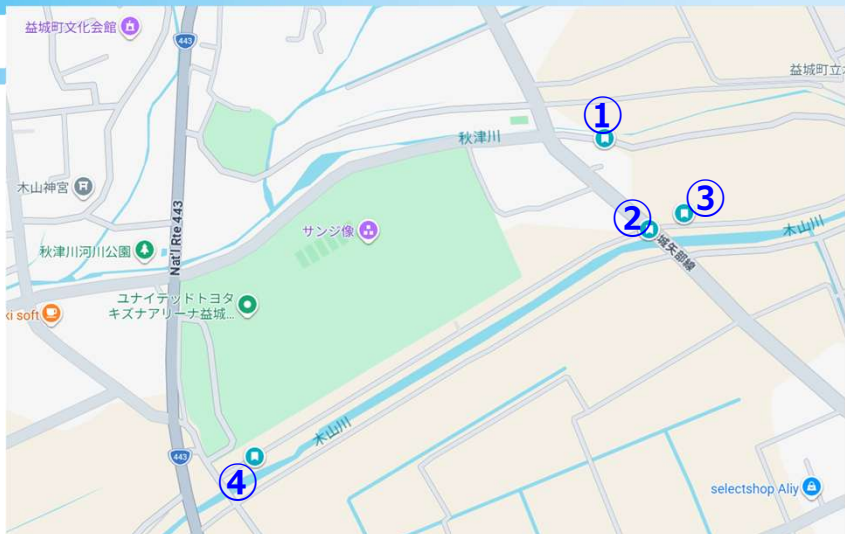


エリア	被害状況概要
熊本城	・ 石垣の一部が崩壊(感太郎測定地点の一部も崩壊)
益城町(2016年被災箇所)	・ 前回被災調査実施箇所では大きな変状は見られない ・ 小池地区の断層部での道路変状が見られる
御船町	・ 高木地区の前回地震後のトレンチ調査箇所を含む断層沿いに変状が見られる ・ 小坂地区の御船川沿いのコストコ周辺で噴砂及び沈下が発生
宇城市豊根町	・ 断層沿いで道路変状、橋梁のずれが見られる
国道443号線美里町～八代市	・ 山地内で落石、護岸の損傷が見られる ・ 椎屋浄水場付近では施設破損箇所からと思われる流下水が見られる
八代JCT付近	・ 断層沿いに亀裂や段差が多く、それに伴う道路、水路、耕作地、護岸の変状が多く見られる ・ 八代神社では境内に断層が見られ、それに沿って建物が損壊を受ける
低地	・ 道路沿いに所々で電柱や電線柱の傾倒、家屋の倒壊、道路変状が見られる ・ 鏡町付近では噴砂やマンホールの浮上がりが多く見られ、鏡川沿いでは張出家屋の倒壊を多く確認 ・ 倒壊した家屋は比較的古いものが多い（旧基準？、老朽化？、土壁の強度？、重い屋根？）
干拓地	・ 道路沿いに所々で電柱の傾倒、道路変状が見られる ・ 前回沈下が見られた横江大橋は当該橋脚に大きな変状は無く、隣接橋脚の傾斜による道路面の不陸が生じた ・ 沿岸部の堤防においては傾斜やクラックが見られ、堤内地の道路や地盤面にもクラックが生じ、一部で液状化による小さな噴砂孔を確認（採取した噴砂は液状化しやすい粒度組成）
埋立地(八代港)	・ 道路や駐車場では噴砂の流出が多くの箇所で確認され、舗装面のクラックや不陸も同様に見られることから一帯で液状化が発生したと推定される(採取した噴砂は液状化しやすい粒度組成) ・ 護岸においてはクラックや傾倒による段差などが多く見られる
国道3号沿い	・ 都市圏活断層図の断層線に沿うエリアで断層による亀裂や段差を多く確認 ・ 一部で断層線とはズレて低地側の位置で断層による変状が連続して見られる ・ 活断層図の砂川を境にした断層線のズレのとおりにも今回も右岸側から続く位置での左岸側の変状は見られなかった ・ 活断層図の氷川を境にした断層線のズレは今回は右岸側の山側へ曲がらないで左岸側に繋がる位置で変状が見られるためにズレていない可能性も考えられる

熊本城



益城町①(2016年地震被害箇所)



※Google マップ利用

2026年現地調査(8/1)	2016年地震被害報告書
① 目立った変状なし 	マンホールの浮き上がり 
② 沈下は確認できない 	橋台背面の沈下 
③ 周辺に目立った変状なし 	鉄塔周辺の地盤沈下 

2026年現地調査(8/1)

2016年地震被害報告書

④ 復旧工事後の目立った変状なし



橋脚の座屈



益城町②(小池地区)



※Google マップ利用



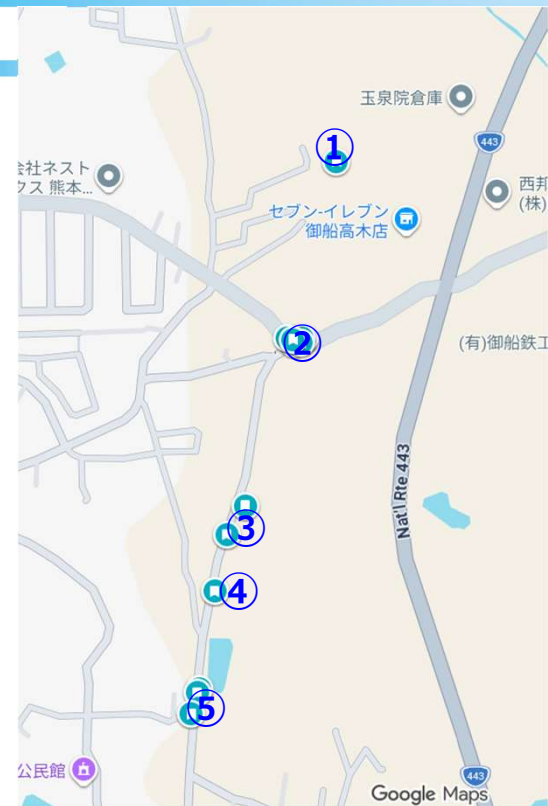
※都市圏活断層図利用

2026年現地調査(8/1)

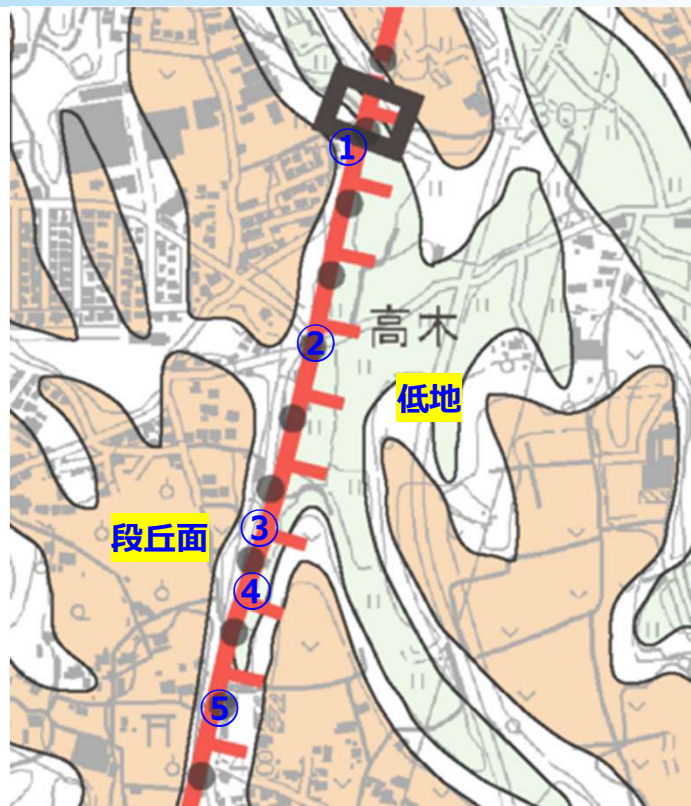
① 県道232号交差点(段丘面と低地境界に沿う北東-南西方向に亀裂：段差5～10センチ程度)



御船町①(高木地区)



※Google マップ利用



※都市圏活断層図利用

2026年現地調査(8/2、8/23)

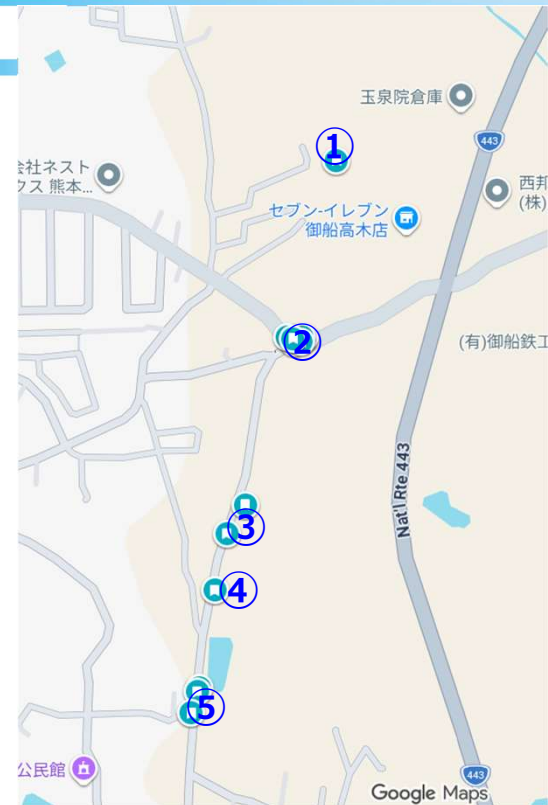
① 2016年地震後のトレンチ調査実施箇所付近(雁行状クラック)



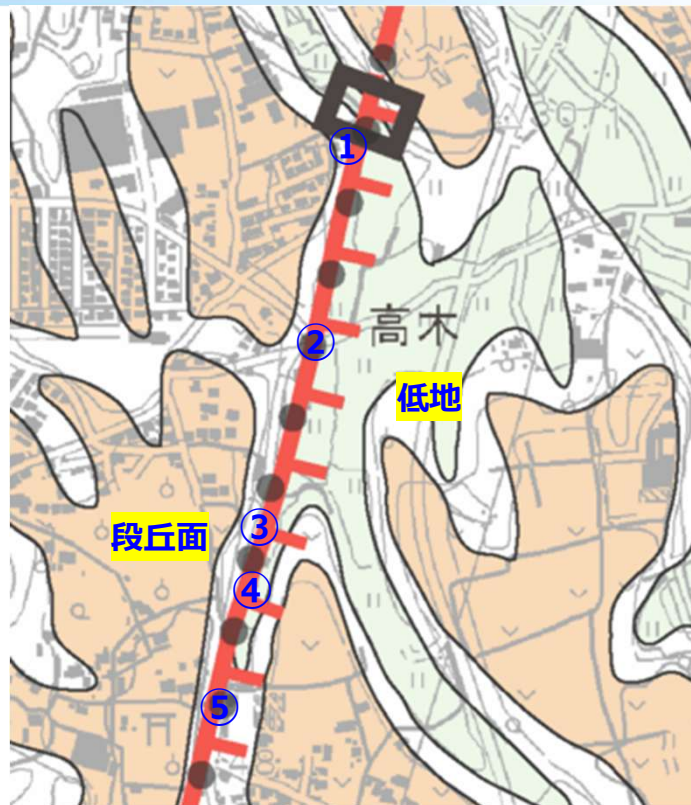
② 交差点付近(クラック、不陸)



御船町①(高木地区)



※Google マップ利用



※都市圏活断層図利用

2026年現地調査(8/2、8/23)

③ 道路東沿いの段丘面縁部～平坦面(雁行状クラック)



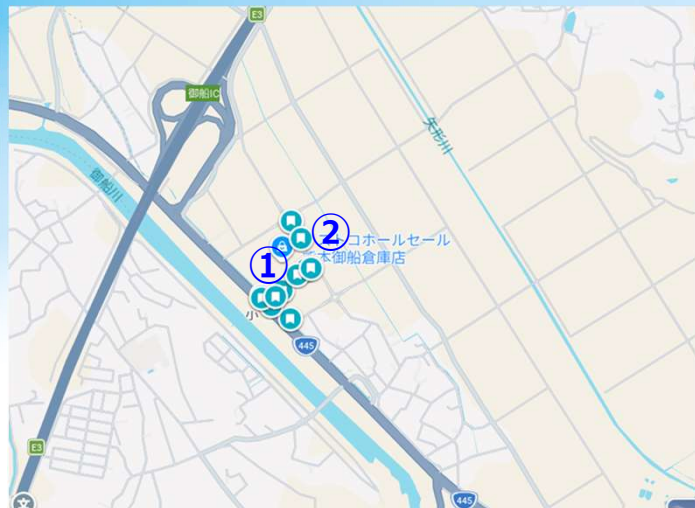
④ 道路東沿い駐車場(クラック、不陸)



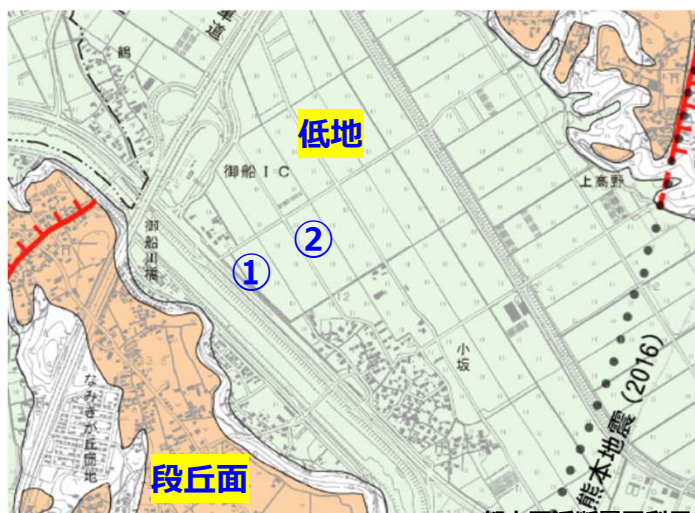
⑤ 道路交差点付近(雁行状クラック、不陸)



御船町②(小坂地区)



※Google マップ利用



※都市圏活断層図利用

2026年現地調査(8/1、8/24)

① コストコ熊本御舟店の駐車場(沈下、噴砂)



② コストコ熊本御舟店東側周辺道路の変状(噴砂)



宇城市豊根町



※Google マップ利用



※都市圏活断層図利用

2026年現地調査(8/1、8/24)

① 国道218号新山崎橋西側道路(クラック)



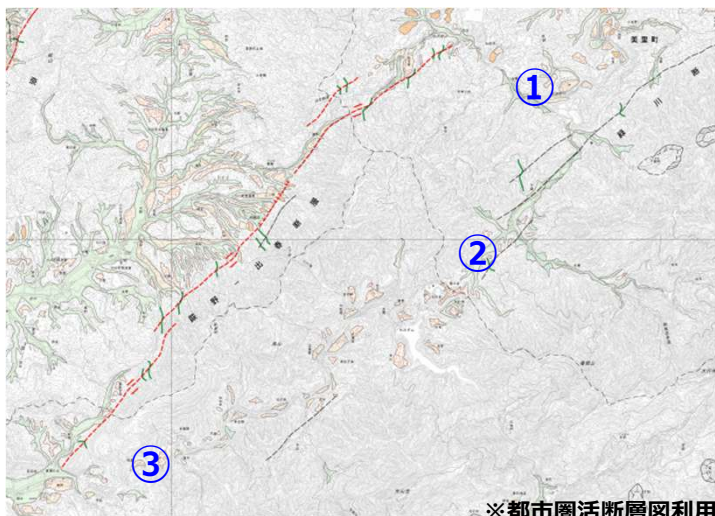
② 国道218号新山崎橋(桁ずれ、段差)



国道443号線美里町～八代市



※Google マップ利用



※都市圏活断層図利用

2026年現地調査(8/1～8/2)

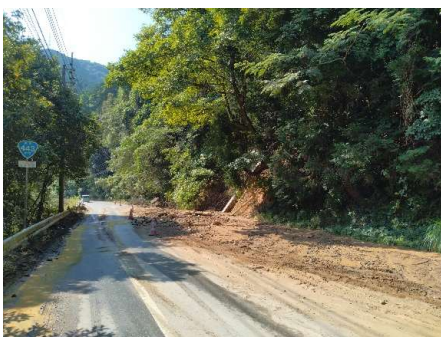
① 美里町県道付近の変状(落石、護岸損傷、斜面崩壊)



② 国道443号沿いの落石



③ 椎屋浄水場付近の国道443号沿いの斜面崩壊(施設破損によるものと考えられる流下水あり)



八代JCT付近



※Google マップ利用



※都市圏活断層図利用

2026年現地調査(8/1、8/22)

①-1 九州自動車道下り線側下道路(不陸、クラック)



①-2 九州自動車道上り線側下水路脇(張ブロック・斜面尻部クラック)



※Google マップ利用

八代JCT付近



※Google マップ利用



※都市圏活断層図利用

2026年現地調査(8/1、8/22)

①-3 九州自動車道上り線側下側道路・水路(段差、破損)



※Google マップ利用

八代JCT付近



※Google マップ利用



※都市圏活断層図利用

2026年現地調査(8/22)

② 南九州自動車道下田んぼ(段差、クラック)



八代JCT付近



※Google マップ利用



※都市圏活断層図利用

2026年現地調査(8/1、8/22)

③-1 県道155号沿い耕作地(段差)



③-2 県道155号沿い道路(段差、クラック)



※Google マップ利用

八代JCT付近



※Google マップ利用



※都市圏活断層図利用

2026年現地調査(8/1、8/22)

③-3 県道158号沿い八代神社(損壊、クラック)



※Google マップ利用

八代JCT付近



※Google マップ利用



※都市圏活断層図利用

2026年現地調査(8/1、8/22)

④ 水無川護岸(段差、クラック)



右岸側



右岸側



右岸側



左岸側



左岸側



県道158号

八代JCT付近



※Google マップ利用



※都市圏活断層図利用

2026年現地調査(8/1、8/22)

⑤ 八代市耕作地(段差、クラック、水路渡ずれ)



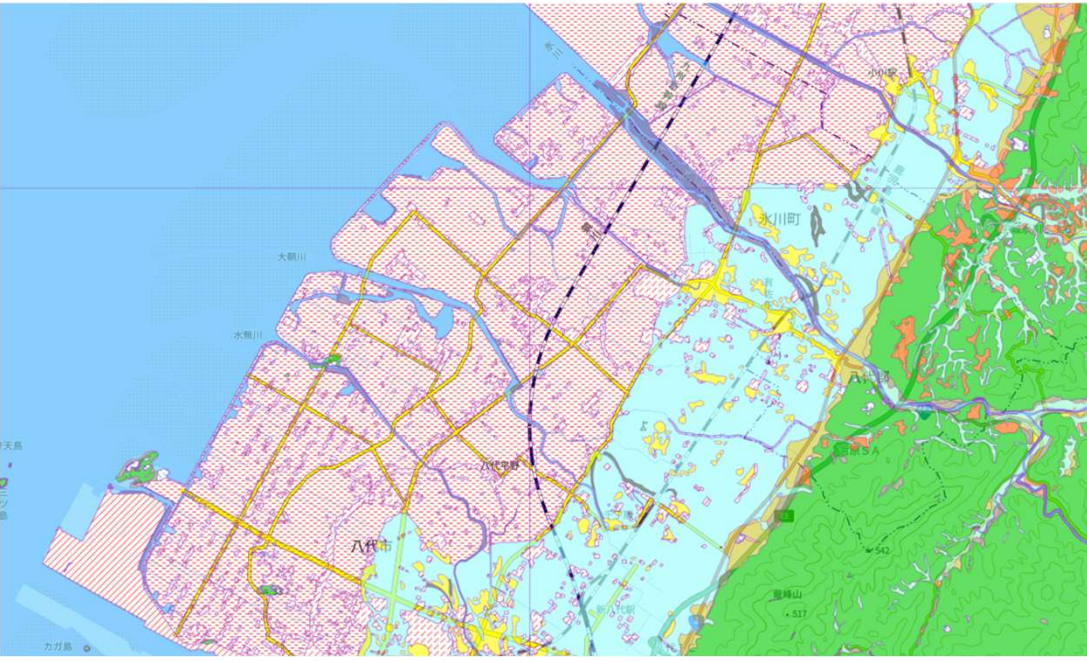
低地・干拓地・埋立地



※Google マップ利用

干拓地・低地境界

低地・高地(台地、山地)境界



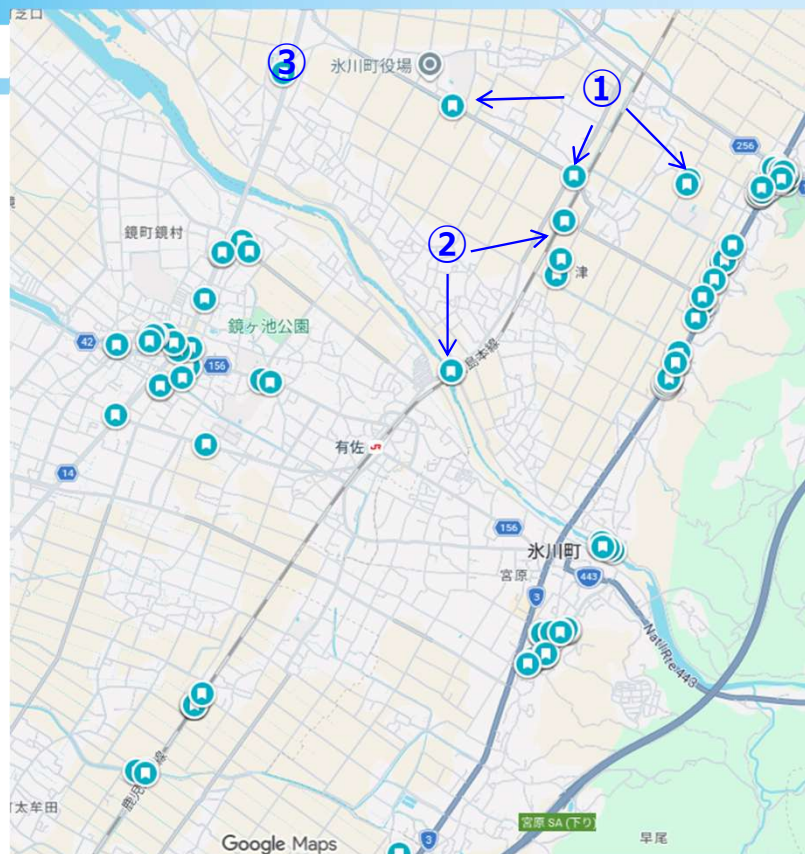
1. 地理院地図 凡例

配色	分類項目	説明
緑	山地斜面等	山地または台地の縁などの傾斜面。
黄	崖	幅の狭い急斜面。
紫	地すべり (滑落崖)	動きの緩急は問わず、山体の一部が土塊として下方に移動して形成された地形のうち、地すべり頭部にできた崖。
紫	地すべり (移動体)	動きの緩急は問わず、山体の一部が土塊として下方に移動してきた地形のうち、すべての土地の到達範囲。
紫	山麓堆積地形	斜面の下方、山麓の谷底または谷の出口にあって、土石流や落石等によって形成された岩屑からなる緩斜面。
黄	台地 (更新世段丘面)	台地の一般面のうち、更新世に形成されたもの。
黄	台地 (完新世段丘面)	台地の一般面のうち、完新世に形成されたもの。
黄	台地 (時代未区分)	台地の一般面のうち、形成年代が特定できないもの。
黄	河川沿いの微高地	現在及び過去の河川沿いにあって、河川の洪水によって形成された微高地。
黄	砂州・砂堆・砂丘	砂州・砂堆は、現在及び過去の海岸、湖岸沿いにあって、波浪や沿岸流によって形成された、砂または礫からなる微高地。砂丘は、現在及び過去の海岸、湖岸、河川沿いにあって、風によって運ばれた砂からなる微高地。
黄	天井川沿いの微高地	現在及び過去の河床が低地の一般面より高い河川に沿って形成された微高地。

※数値地図25000(土地条件)

凹地・浅い谷	台地の一般面上にあって、相対的に低い地形。又は、砂州・浜堤上、砂丘上にあって、相対的に低い地形。
扇状地	河川が山地から平地に移る場所において、主として砂礫からなる扇状の堆積地形。
谷底平野・氾濫平野	山地や台地を囲む河川の堆積作用及び平野地、及び河川の堆積作用により形成された広く開けた平野地。
海岸平野・三角州	過去の浅海堆積面が海退により陸化した平野地、及び河川の河口部にあって、主としてシルト、粘土からなる平野地。
後背低地	河川の堆積作用が比較的及ばず、主として粘土や泥炭からなる沼沢性起源の低湿地。
旧河道	谷底平野・氾濫原及び海岸平野・三角州上にあって、過去の河川流路の跡。
河川敷・浜	堤外地のうち、高水時に冠水する部分、及び暴浪時に冠水する海岸の岩場、砂礫地。
湿地	地下水位が地表面に対して著しく浅い土地。
水部	河川、湖沼、海、野水池などの水面。
旧水部	湖沼、海、野水池などを盛土、埋立、干拓等により人工的に陸化したもの。
農耕平坦地	山地などを切り開いた農耕地。
切土地	山地、台地などの造成地のうち、切取りによる平坦地または傾斜面。
高い盛土地	約2m以上盛土した人工造成地。主に海や谷を埋めた部分。
盛土地・埋立地	山地、台地、低地及び水部に土を盛って造成された平坦地または傾斜面。
干拓地	水部を干して陸地化した土地。
変更工事中の区域	データ整備時に、人工的に地形の変更が進行中の区域。

【低地】



※Google マップ利用

2026年現地調査(8/1～8/2、8/22)

① 氷川町道路沿い(亀裂、噴砂、電柱傾斜、家屋倒壊)



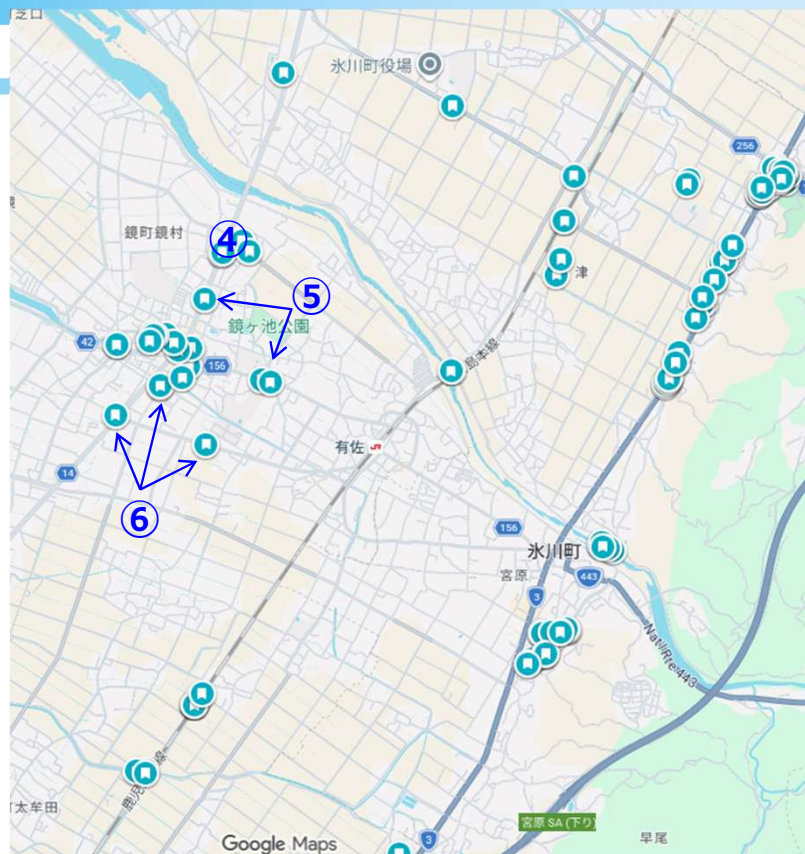
② 氷川町鹿児島本線 (電線柱傾倒)



③ 氷川町鹿嶋宮の倒壊



【低地】



※Google マップ利用

2026年現地調査(8/1～8/2、8/22)

④ 氷川左岸鏡町県道14号沿い(噴砂、家屋倒壊)



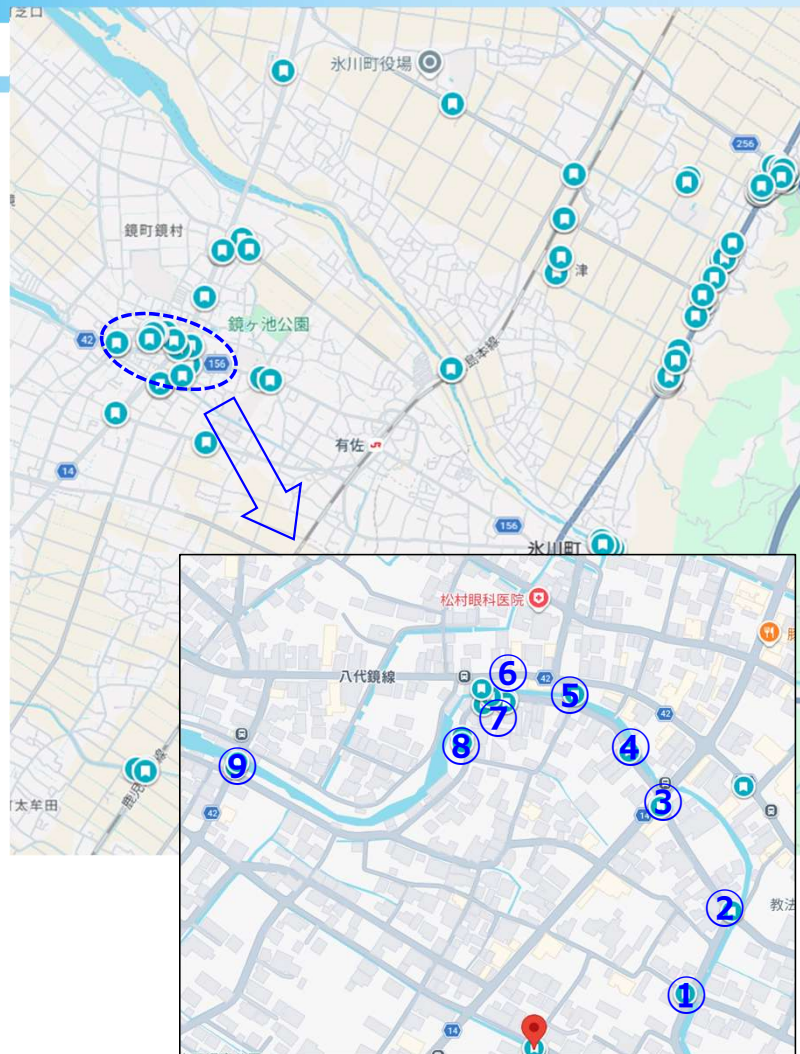
⑤ 鏡町道路沿い(家屋倒壊)



⑥ 鏡町道路沿い(家屋倒壊、マンホール浮上り)



【低地】



※Google マップ利用

2026年現地調査(8/1～8/2、8/22)

鏡川沿い

① マンホール突出



② 橋梁部との段差



③ 家屋と路面の段差



④ 河川護岸の傾倒、クラック



⑤ 張出家屋の倒壊



⑥ 張出家屋基礎・護岸の破損



⑦ 張出家屋の倒壊



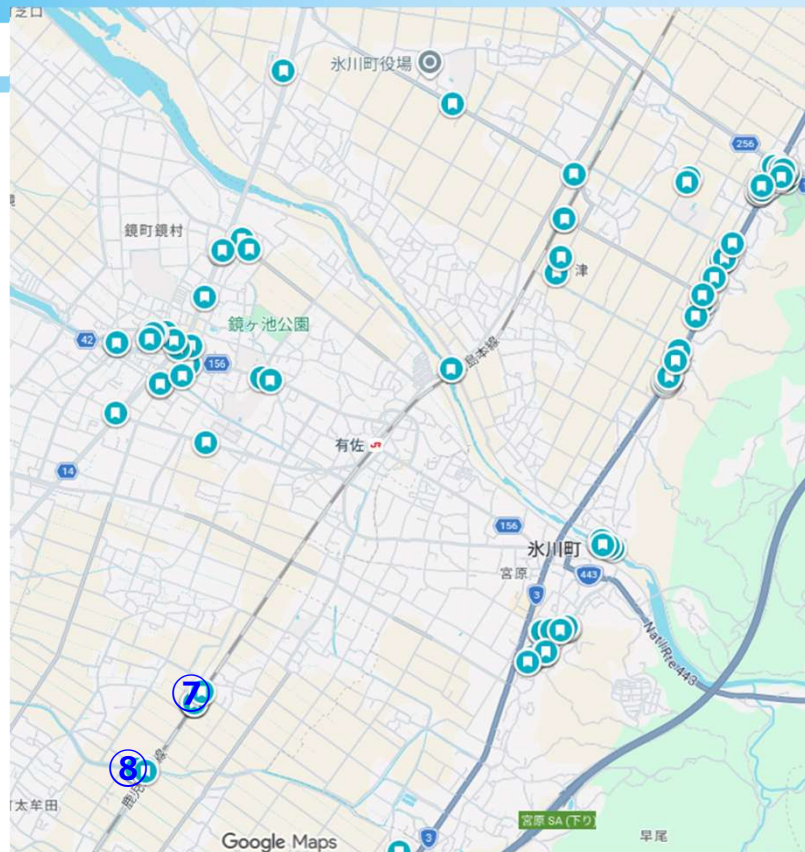
⑧ 張出家屋の倒壊



⑨ 張出家屋の倒壊



【低地】



※Google マップ利用

2026年現地調査(8/1～8/2、8/22)

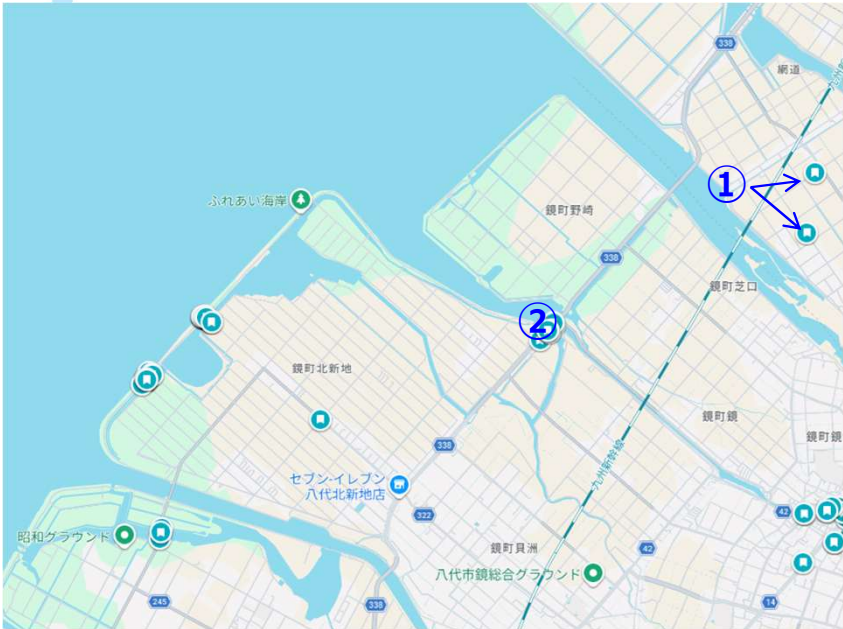
⑦ 鏡町鹿児島本線(電線柱の傾倒)



⑧ 鏡町大鞘川護岸(クラック、段差)



【干拓地】



※Google マップ利用

2026年現地調査(8/1～8/2、8/22)

① 氷川町内(倉庫傾倒、田植え苗の浮上り)



② 鏡川横江大橋(橋脚傾斜、桁のずれ)



前回地震損傷状況(2017年社内研)



微小なひび割れのみ



地震前写真(Googleストリートビュー)



橋脚の傾斜

桁のずれ

【干拓地】



※Google マップ利用

2026年現地調査(8/1～8/2、8/22)

③ 潮遊沼北側の海岸堤防、堤内地盤 (堤防傾斜、路面不陸・クラック)



④ 潮遊沼南側の水門付近の海岸堤防、堤内地盤(堤防傾斜、噴砂)



【干拓地】

2026年現地調査(8/1～8/2)

⑤ 八代市県道322号沿い(電柱の傾倒)



⑥ 八代市県道322号小橋梁(電柱傾斜、段差)



※Google マップ利用

【埋立地】

2026年現地調査(8/1～8/2)

① 大島地区道路・護岸・タンク基礎(クラック、傾倒、噴砂)



② 外港地区八代運動公園(噴砂、不陸)



③ 外港地区球戯場の変状(噴砂)



※Google マップ利用

【埋立地】

2026年現地調査(8/1～8/2)

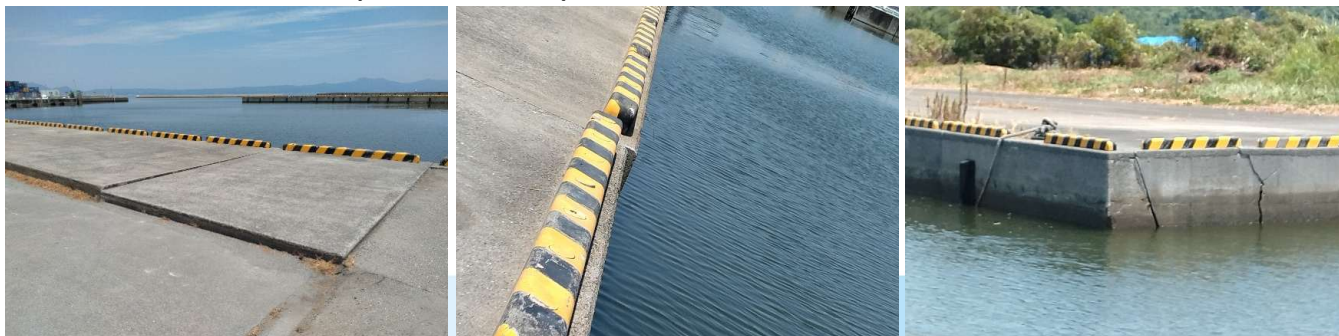
④ 外港地区道路の変状(不陸、噴砂)



⑤ 外港地区鉄塔基礎付近(噴砂、不陸)

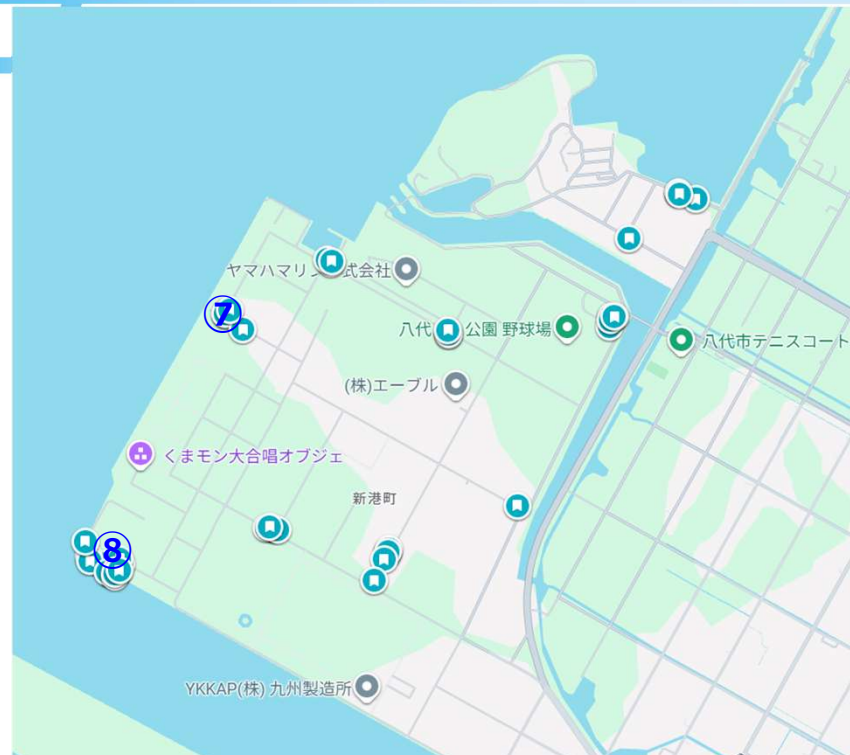


⑥ 外港地区マリーナ護岸(傾倒、クラック)



※Google マップ利用

【埋立地】



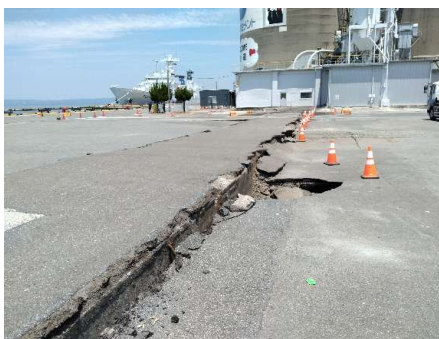
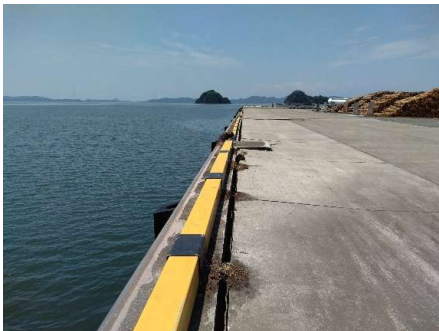
※Google マップ利用

2026年現地調査(8/1～8/2)

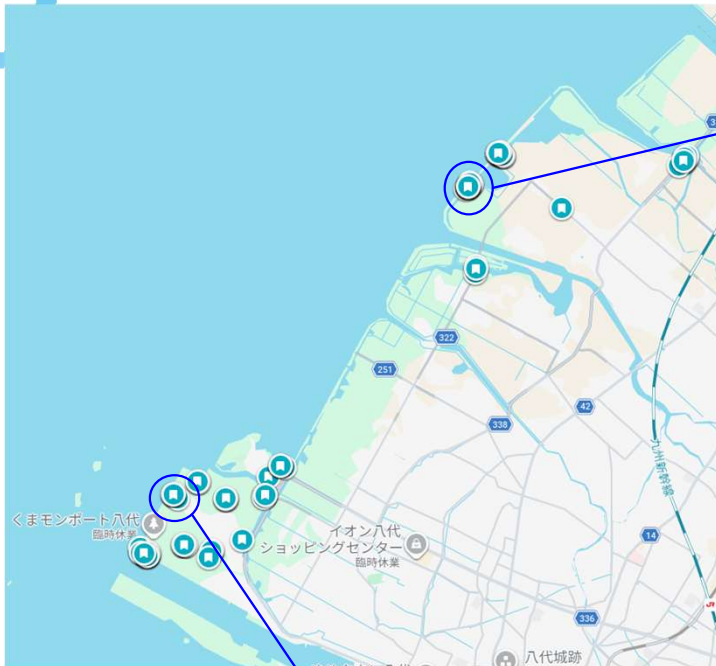
⑦ 外港地区コンテナターミナル(噴砂、不陸)



⑧ 外港地区護岸付近(傾倒、不陸、噴砂)



【噴砂の粒度特性】



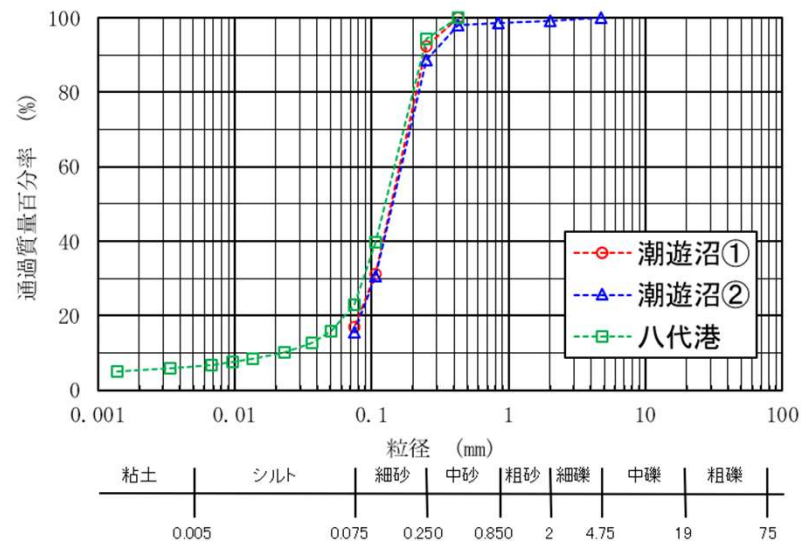
潮遊沼噴砂①



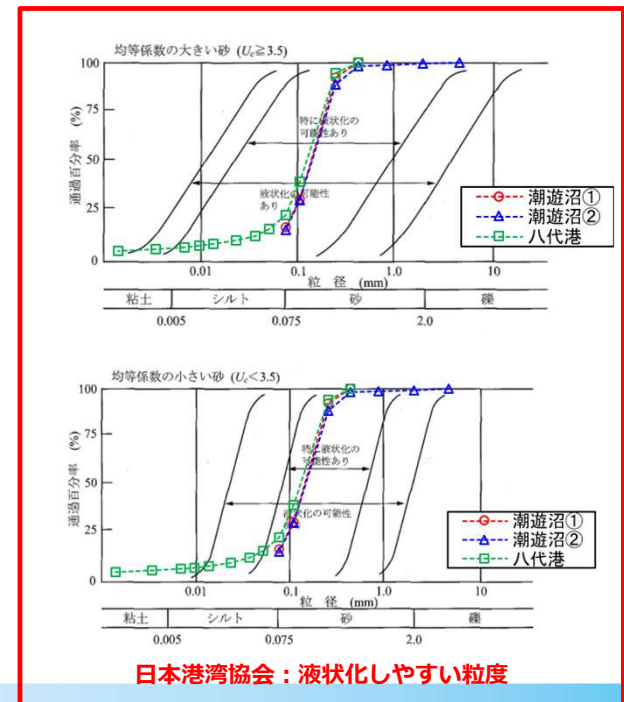
潮遊沼噴砂②



八代港コンテナターミナル噴砂



※各地点とも細粒質細砂
→特に液状化の可能性しやすい均一な粒径



日本港湾協会：液状化しやすい粒度

【参考：氷川町被災住宅】



※Google マップ利用

2026年現地調査(8/1～8/2)

被災住宅内部

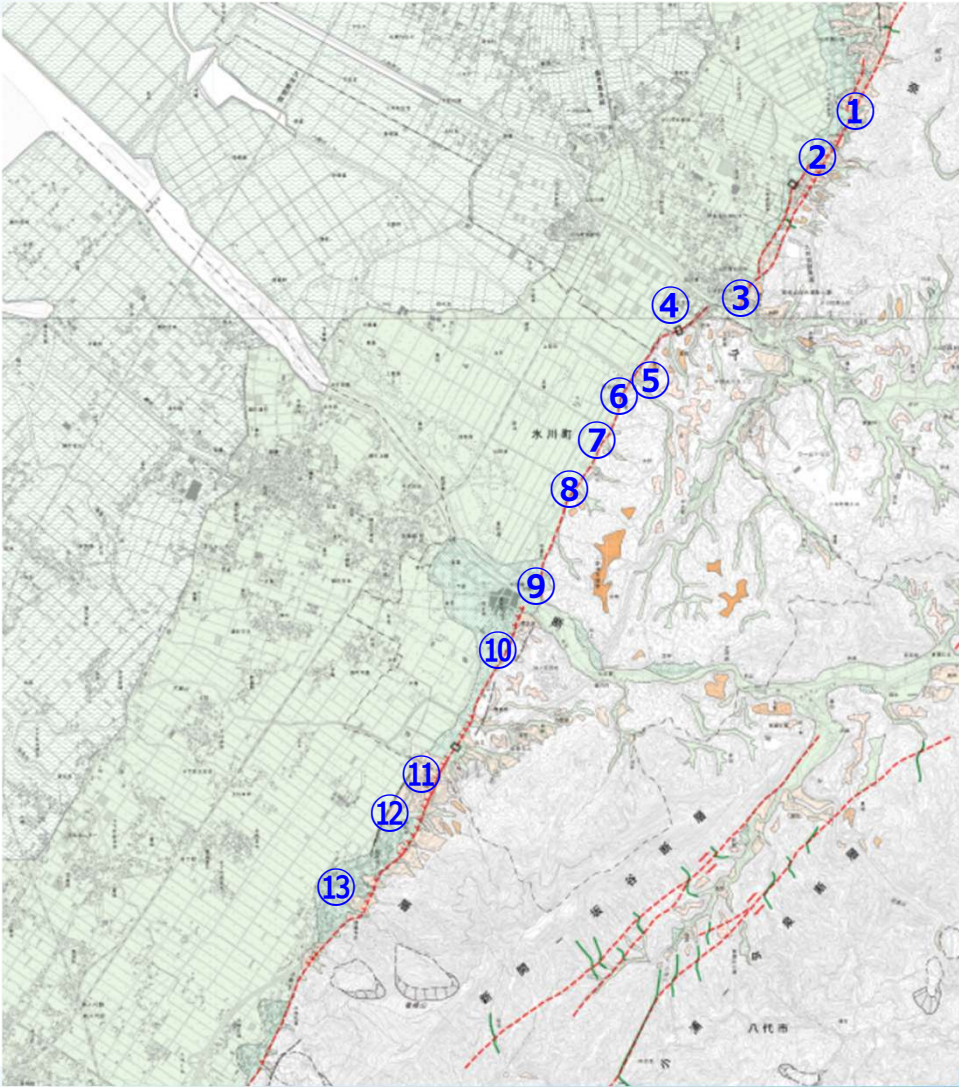
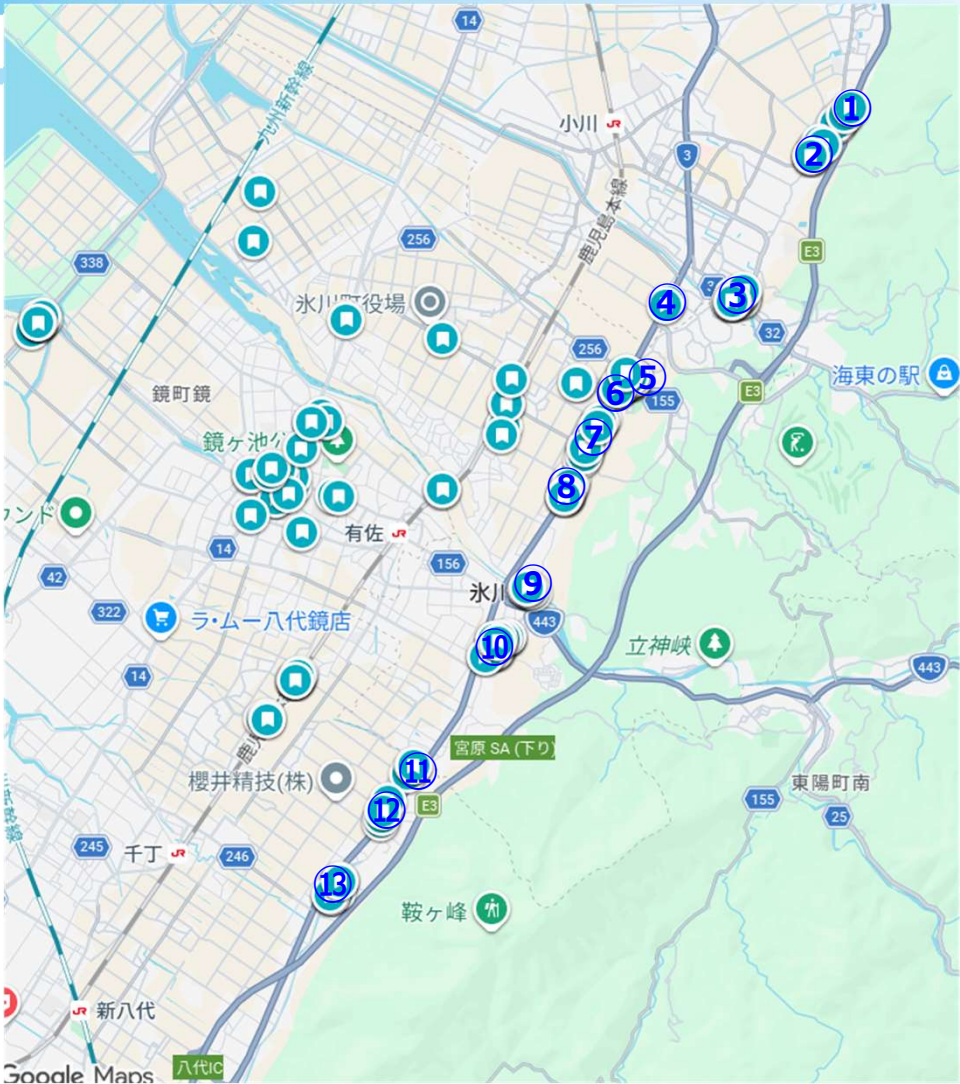


- ・柱に大きな損傷が無く、骨格構造は維持しているが土壁の剥離、家財の散乱など内部は大きく損傷

【ヒアリング内容】

- ・2025年豪雨での浸水の影響で資機材などを上階など高い位置に保管している家屋では揺れの影響が大きかったところもあったようである
- ・生活品などの物資について早急に対応されており困っていないがガソリン燃料の入手が困難である
- ・高気温が続いており、電気が比較的早く復旧(7/31から)したので冷房が使えるので助かった
- ・上水道が止まっており、入浴用水の確保が大変で不便である(飲食用の水は確保できる)
→稲作に上水を使っているところは収穫できない可能性が高い
- ・一部のドラッグストアやコンビニは販売品が限定的であるが営業を再開し始めている

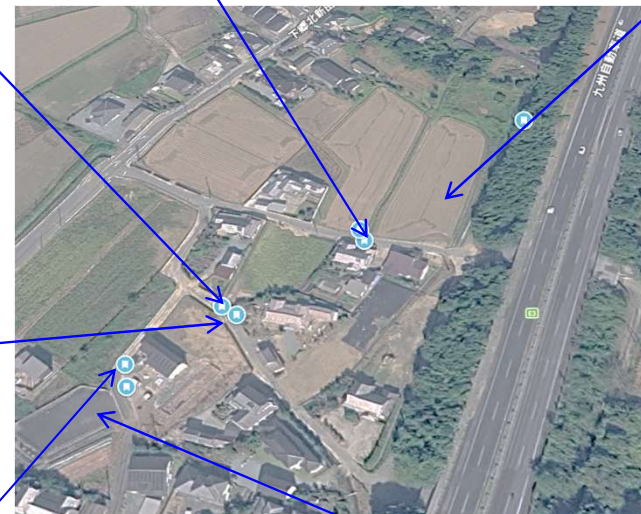
国道3号沿い断層



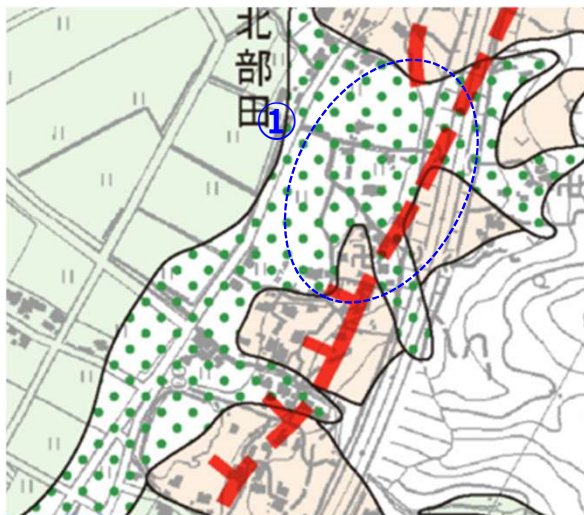
国道3号沿い断層(宇城市小川町)



※Google マップ利用



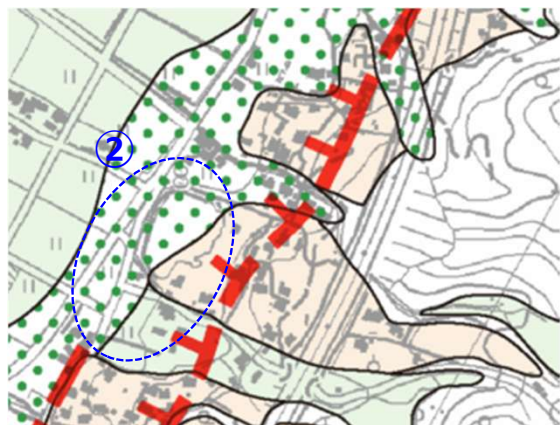
※Google マップ利用



※都市圏活断層図利用



国道3号沿い断層(北部田水辺公園周辺)



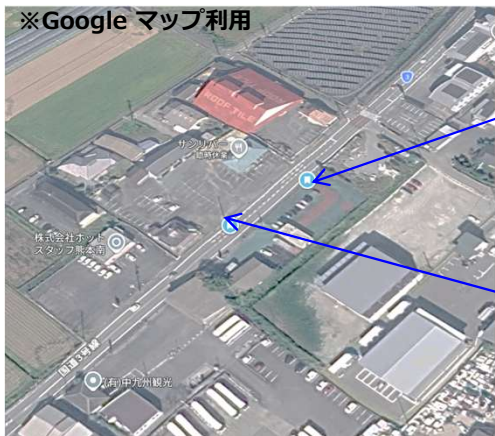
国道3号沿い断層(砂川右岸,宇城市小川町)



※Google マップ利用



※都市圏活断層図利用



※Google マップ利用



家屋の倒壊



歩道のクラック、店舗との段差



電柱周辺のクラック・不陸



駐車場のクラック・不陸



宅地のクラック・段差、家屋傾倒



※Google マップ利用



石段の変状



堤防上敷地内のクラック



堤防道路のクラック・不陸

国道3号沿い断層(竜北公園周辺)



※Google マップ利用



※都市圏活断層図利用



道路上部広場の落盤



北側道路を横断→
するクラック



上部広場支柱の座屈



擁壁の傾倒(土砂流出)



竜北公園方向のクラック



道路上部広場端部の変状

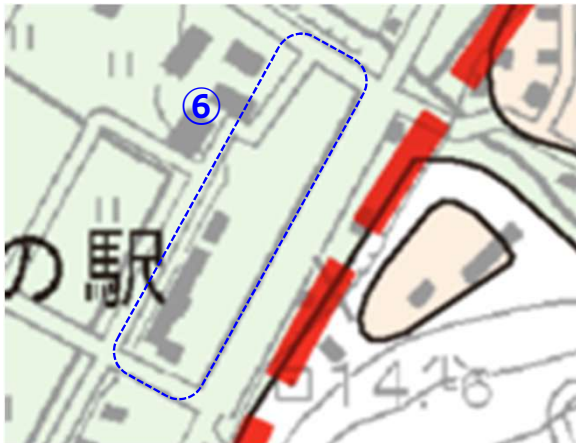


地震前写真(Googleストリートビュー)

国道3号沿い断層(道の駅竜北周辺)



※Google マップ利用



※都市圏活断層図利用



駐輪場周辺のクラック・不陸



歩道・側溝の変状



護岸のクラック



駐車場の変状跡



擁壁の傾倒(土砂流出)



歩道のクラック・不陸

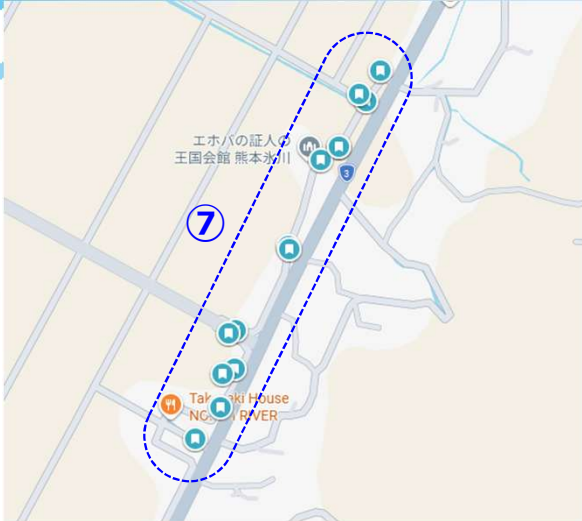


敷地内のクラック・不陸



敷地内のクラック・不陸

国道3号沿い断層(氷川町)



※Google マップ利用



※都市圏活断層図利用



コンクリートマスの変形



道路・水路の変状



果樹園に続くクラック



耕作地のクラック



※Google マップ利用



道路のクラック、側溝の破損



耕作地・果樹園の段差



護岸の破損



上段果樹園のクラック・段差

国道3号沿い断層(氷川町)



※Google マップ利用



※都市圏活断層図利用



家屋の倒壊



道路のクラック・不陸



道路のクラック・不陸



道路擁壁・歩道の変状



※Google マップ利用



耕作地のクラック



道路の変状



道路の変状、支柱と傾倒



擁壁のクラック(土砂流失跡)

国道3号沿い断層(氷川沿い)



※Google マップ利用



※都市圏活断層図利用



右岸護岸ブロックの変状



右岸護岸堤体のクラック



右岸護岸の変状



※Google マップ利用



左岸護岸のクラック



右岸護岸ブロックの変状

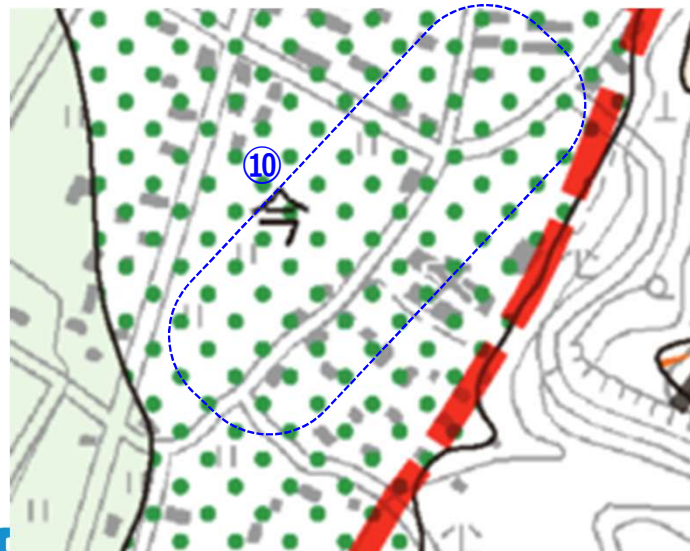


右岸護岸の変状

国道3号沿い断層(宮原小学校周辺)



※Google マップ利用



※都市圏活断層図利用



倒壊家屋に及ぶ路面のクラック



駐車場内のクラック



グラウンドのクラック



※Google マップ利用



敷地内のクラック



道路との段差、塀倒壊、
駐車場底板クラック・浮上り

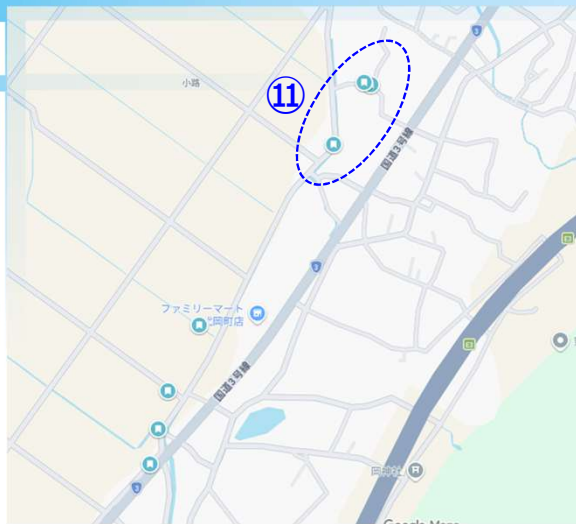


敷地内のクラック、家屋の倒壊

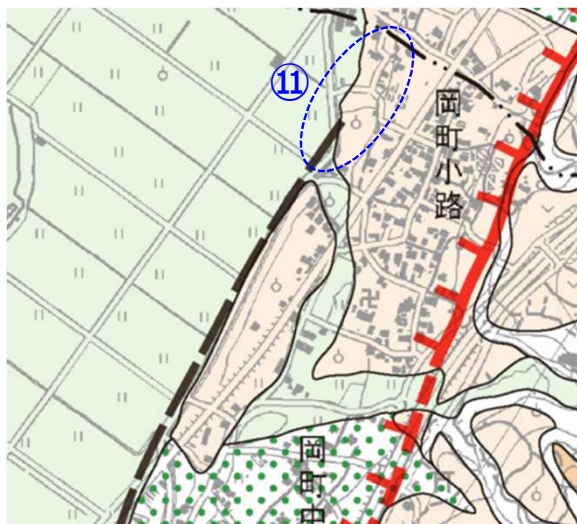


水路壁の段差
駐車場のクラック

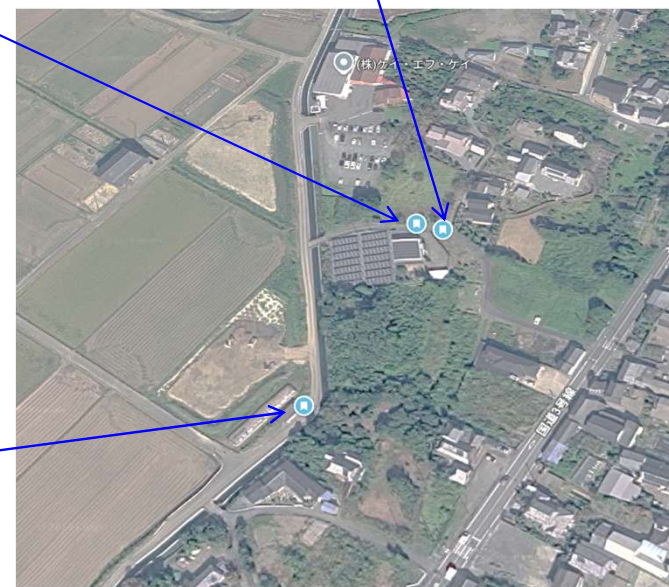
国道3号沿い断層(八代市岡町)



※Google マップ利用

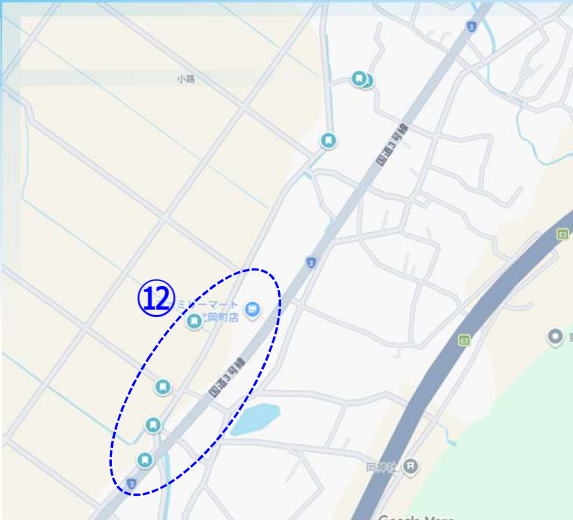


※都市圏活断層図利用



※Google マップ利用

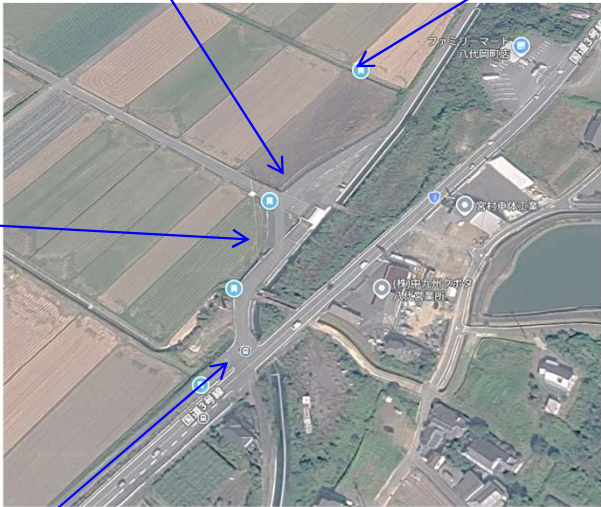
国道3号沿い断層(八代市岡町)



※Google マップ利用



※都市圏活断層図利用



※Google マップ利用



国道3号沿い断層(龍峯小学校周辺)



※Google マップ利用



※都市圏活断層図利用



※Google マップ利用

